

地方独立行政法人三重県立総合医療センター 平成24年度 業務の実績に関する評価結果報告書

(参考) 項目別評価【個別項目評価結果】

平成25年8月

地方独立行政法人三重県立総合医療センター評価委員会

法人の概要

- 1 法人の名称及び所在地
地方独立行政法人三重県立総合医療センター
三重県四日市市大字日永5 4 5 0 - 1 3 2
- 2 法人の種別
特定地方独立行政法人
- 3 設立年月日
平成24年4月1日
- 4 設立団体
三重県
- 5 中期目標の期間
平成24年4月1日～平成29年3月31日
- 6 基本理念及び基本方針
【基本理念】
 - 1 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
 - 2 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。【基本方針】
 - 1 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。

- 2 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します。
- 3 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 4 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
- 5 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

- 7 資本金の額
1,099,272,714円

- 8 役員及び常勤職員の数（平成24年4月1日現在）

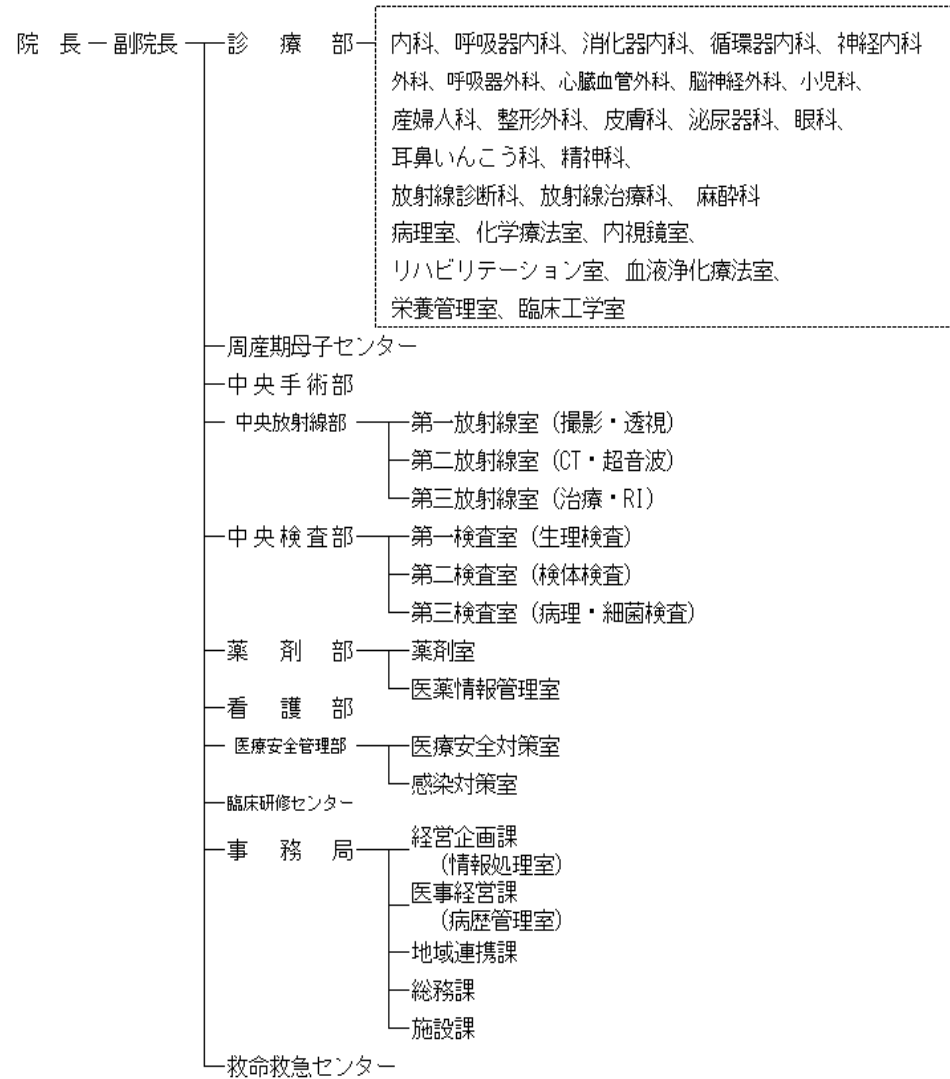
【役員名簿】

	氏名	役職
理事長	高瀬 幸次郎	センター院長
副理事長	高沖 芳寿	センター副院長
理事	栃木 宏水	センター副院長
理事	草野 五男	センター副院長
理事	松本 壽夫	センター副院長
理事	川島 いづみ	センター看護部長
理事	登 勉	国立大学法人三重大学医学部長
監事	佐久間 紀	公認会計士（佐久間紀事務所）
監事	早川 忠宏	弁護士（北勢総合法律事務所）

【常勤職員数】

555名（医師94名、看護師355名、医療技術職員73名、事務等33名）

9 組織体制



10 病院の概要

(1) 許可病床数

446床

(2) 診療科目【20】

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、小児科、産婦人科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、精神科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科

(3) 主な診療機能

- 救命救急センター
- 地域がん診療連携拠点病院
- 基幹災害拠点病院
- 地域周産期母子医療センター
- 臨床研修病院
- エイズ拠点病院
- 第二種感染症指定病院
- へき地医療拠点病院

1 項目別（個別項目評価）の評価結果一覧

年度計画の項目名		評価項目	法人の 自己評価	評価委員 会の評価
大項目 > 中項目 > 小項目 > 最小項目	指標の 有無		評点	評点
第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置				
1 医療の提供				
(1) 診療機能の充実				
ア 高度医療の提供				
(ア) がん	有	1		
(イ) 脳卒中・心筋梗塞	有	2		
(ウ) 各診療科の高度化		3		
イ 救急医療	有	4		
ウ 小児・周産期医療	有	5		
エ 感染症医療		6		
(2) 信頼される医療の提供				
ア クリニカルパスの推進	有	7		
イ インフォームドコンセントの徹底		8		
ウ 診療科目の充実		9		
(3) 医療安全対策の徹底		10		
(4) 患者・県民サービスの向上				
ア 患者満足度の向上	有	11		
イ 待ち時間の短縮		12		
ウ 個人情報の保護		13		
エ 相談体制の充実		14		
オ 保健医療情報の発信		15		
2 非常時における医療救護等				
(1) 大規模災害発生時の対応		16		
(2) 公衆衛生上の重大な危機が発生した場合の対応		17		
3 医療に関する地域への貢献				
(1) 地域の医療機関との連携強化	有	18		
(2) 医師不足等の解消への貢献		19		
4 医療に関する教育及び研修				
(1) 医師の確保・育成	有	20		
(2) 看護師の確保・育成	有	21		
(3) コメディカル(医療技術職)の専門性の向上		22		
(4) 資格の取得への支援	有	23		
(5) 医療従事者の育成への貢献	有	24		
5 医療に関する調査及び研究		25		

年度計画の項目名		評価項目	法人の 自己評価	評価委員 会の評価
大項目 > 中項目 > 小項目	指標の 有無		評点	評点
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置				
1 適切な運営体制の構築		26		
2 効果的・効率的な業務運営の実現		27		
3 業務改善に継続して取り組む組織文化の醸成				
(1) 経営関係情報の周知		28		
(2) 改善活動の取組		29		
4 就労環境の向上	有	30		
5 人材の確保、育成を支える仕組みの整備		31		
6 事務部門の専門性の向上と効率化		32		
7 収入の確保と費用の節減				
(1) 収入の確保	有	33		
(2) 費用の節減	有	34		
8 積極的な情報発信		35		
第3 財務内容の改善に関する事項				
1 予算、2 収支計画、3 資金計画（平成24年度）		36		
第7 その他業務運営に関する重要事項				
1 保健医療行政への協力		37		
2 法令・社会規範の遵守		38		
3 業務運営並びに財務及び会計に関する事項				
(1) 施設及び設備に関する計画		39		
(2) 積立金の処分に関する計画				
(3) その他法人の業務運営に関し必要な事項				

【評価基準】

区分	評価の基準の説明
	年度計画を著しく上回って実施している
	年度計画を上回って実施している
	年度計画を概ね計画どおり実施している
	年度計画を十分に実施できていない
	年度計画を大幅に下回っている、又は実施していない

2 評価を行う大項目ごとの集計結果

項目名(大項目)	評価の対象項目数	年度計画を著しく上回って実施している		年度計画を上回って実施している		年度計画を概ね計画どおり実施している		年度計画を十分に実施できていない		年度計画を著しく下回っている、又は実施していない		平均値(点)	
		法人の自己評価	評価委員会の評価	法人の自己評価	評価委員会の評価	法人の自己評価	評価委員会の評価	法人の自己評価	評価委員会の評価	法人の自己評価	評価委員会の評価	法人の自己評価	評価委員会の評価
		第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	25	0	0	14	14	11	11	0	0	0	0
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	10	0	0	6	5	4	5	0	0	0	0	3.6	3.5
第3 財務内容の改善に関する事項	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5.0	4.0
第7 その他業務運営に関する重要事項	3	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	4.0	4.0
合計	39	1	0	23	23	15	16	0	0	0	0	3.6	3.6

(注意) 平均値(点)は、 =5点、 =4点、 =3点、 =2点、 =1点とし、合計したものを、評価の対象項目数で除して算出。小数点第2位四捨五入。

3 項目別の状況

大項目 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	<p>第2 県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 医療の提供</p> <p>医療環境の変化や多様化する医療ニーズ等に対応して、県民に良質な医療を提供できるよう体制の充実を図り、本県の政策医療の拠点としての役割を担うこと。</p> <p>(1) 診療機能の充実</p> <p>北勢保健医療圏の中核的な病院としての役割を着実に果たすとともに、以下に掲げる機能の充実について重点的に取り組むこと。</p> <p>ア 高度医療の提供</p> <p>がん、脳卒中、急性心筋梗塞に対する高度医療など多くの分野で県内最高水準の医療を提供し、県民から高い評価を受けられる病院をめざすこと。</p> <p>特に、がん診療については、地域がん診療連携拠点病院として三重大学医学部附属病院と連携し、県全体の医療水準の向上に貢献すること。</p>
------	--

評価項目 1～3 高度医療の提供

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント
		自己評価	評価結果	
<p>1 医療の提供</p> <p>三重県の医療政策として求められる高度医療、救急医療等を提供するとともに、医療環境の変化や県民の多様化する医療ニーズに応えるため、法人が有する医療資源を効果的・効率的に活用し、より多くの県民に質の高い医療を提供する。</p> <p>(1) 診療機能の充実</p> <p>北勢保健医療圏の中核的な病院としての役割を着実に果たすため、高度医療の提供などの機能の充実に取り組む。</p> <p>ア 高度医療の提供</p>	<p>1 医療の提供</p> <p>(1) 診療機能の充実</p> <p>ア 高度医療の提供</p>			

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価							
		自己 評価	評価 結果	コメント							
<p>(ア)がん</p> <p>がん治療については、地域がん診療連携拠点病院として、院内のがん診療評価委員会（カンサーボード）を中心に緩和ケアも含めた集学的治療の推進や医師、看護師、薬剤師等をメンバーとする治療チームの活動強化に努めるとともに、定期的な研修会の開催などにより、医療スタッフの知識と技術の向上を図る。</p> <p>また、消化器系がんの早期発見・早期治療に貢献できるよう内視鏡室を拡充整備し、検査体制を強化する。</p> <p>さらに、県がん診療連携拠点病院である三重大学医学部附属病院をはじめ、国立がん研究センターや他のがん診療連携拠点病院との機能連携を図りながら、より充実したがん治療体制を整備する。</p>	<p>評価項目 1</p> <p>(ア)がん</p> <p>地域がん診療連携拠点病院として、がん医療の均てん化に努め、地域医療機関との連携をとり、がん患者に質の高い医療を提供する体制の充実を以下のとおり図る。</p> <p>がん診療連携拠点病院として、院内のがん診療評価委員会（カンサーボード）を原則月1回開催し、緩和ケアも含めて集学的治療の推進や医師、看護師、薬剤師等をメンバーとする治療チームの活動強化に努める。</p> <p>がん相談体制の充実</p> <p>平成19年に設置した「がん相談支援センター」において、看護師、医療ソーシャルワーカーが様々な相談に応じる。</p> <p>また、「がんサポート室」での「がん情報コーナー」「患者サロン」を効果的に運用することによって、情報交換、情報提供の促進に寄与する。</p>	<p>・がん診療連携拠点病院として、各診療科間でのがん治療の連携・チーム医療を推進した。また、がん治療の周知・情報提供を行うための「がん市民公開講座」を開催した。</p> <p>○がん市民公開講座 【開催日】平成24年10月6日 【場所】当院 7階講堂 【内容】・最新診療の紹介 ・各部門の取組の展示 【参加者数】106名</p> <p>・「がん相談支援センター」及び「がんサポート室」に専従・専任の相談員を配置し、カウンセリング、告知後のサポート（本人、家族）及び心理的相談業務を行った。</p> <p>・「がんサポート室」に書籍及びインターネット閲覧コーナーを設置し、患者及びそのご家族の方が気軽に情報を得ることができる体制を整えた。</p> <p>・これらの対応もあって、相談件数は昨年度より増加した。</p> <p>○がん相談支援センター相談件数（件）</p> <table border="1"> <tr> <td>平成22年度</td> <td>1,439件</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>1,712件</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>2,360件</td> </tr> </table>	平成22年度	1,439件	平成23年度	1,712件	平成24年度	2,360件			<p>がん手術件数及び放射線治療件数の増加、がん相談体制の充実に伴う相談件数の増加並びに内視鏡センターの稼働による検査体制の強化を図られたことについて評価する。</p> <p>今後も地域医療機関との連携に努めるとともに、地域がん診療連携拠点病院としてふさわしい体制・カンサーボードを充実させるために十分な医療スタッフ（認定看護師等）の育成を図られたい。</p>
平成22年度	1,439件										
平成23年度	1,712件										
平成24年度	2,360件										

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価	
		自己 評価	評価 結果	コメント	
	<p>緩和ケア体制の充実 緩和ケア外来の診療を継続するとともに、緩和ケア研修を実施し、がん治療に携わる医師の疼痛緩和に関する知識や対応方法を習得させる。</p> <p>医師、看護師、薬剤師等から構成する「緩和ケアチーム」による病棟ラウンドを行い、がんに伴う心身の不快を和らげるよう努める。</p>	<p>・緩和ケア外来は、毎週月・木曜日に開設している。緩和ケア専用の診察室を設置し、看護師が同席する等のきめ細かい診療、生活支援を行っている。</p> <p>・地域の開業医をはじめとする医療従事者向けに、厚生労働省指定の「緩和ケア研修会」を実施し、がん診療に携わる医師等医療従事者への緩和ケア知識の習得を行った。</p> <p>緩和ケア研修会の概要 【開催日】平成24年6月3日、10日の2日間 【研修内容】緩和ケアに関する知識・症例など（講義・グループワーク形式） 【修了人員】18名</p> <p>・緩和ケアチームによる病棟ラウンドを行い、緩和ケア医療に努めた。 緩和ケアチームのメンバー 医師、看護師、薬剤師、臨床心理士ほか</p> <p>・緩和ケアチームの技術向上に向け、国立がん研究センター実施の研修を受講した。</p> <p>国立がん研究センター研修の概要 【研修名】緩和ケアチーム基礎研修 【受講日】平成24年12月15日～16日 【受講者】医師(1名)、看護師(1名)、薬剤師(1名) 計3名</p>			

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																													
		自己 評価	評価 結果	コメント																													
<p>検査体制の強化 消化器系がんの早期発見・早期治療に寄与できるよう、内視鏡室を拡充整備し、検査体制を強化する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H22年度実績</th> <th>H28年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん手術件数（件）</td> <td>494</td> <td>540</td> </tr> <tr> <td>化学療法患者数（人）</td> <td>4,937</td> <td>5,400</td> </tr> <tr> <td>放射線治療件数（件）</td> <td>4,397</td> <td>4,600</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H22年度実績	H28年度目標	がん手術件数（件）	494	540	化学療法患者数（人）	4,937	5,400	放射線治療件数（件）	4,397	4,600	<p>検査体制の強化 消化器系がんの早期発見・早期治療に寄与できるよう、内視鏡室を拡充整備し、検査体制を強化する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H24年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん手術件数（件）</td> <td>504</td> </tr> <tr> <td>化学療法患者数（人）</td> <td>5,036</td> </tr> <tr> <td>放射線治療件数（件）</td> <td>4,441</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H24年度目標	がん手術件数（件）	504	化学療法患者数（人）	5,036	放射線治療件数（件）	4,441	<p>・内視鏡室を拡充整備し、「内視鏡センター」として、平成25年3月から稼働した。 これにより、消化器系がんの検査体制を強化した。</p> <p>○内視鏡室の主な充実内容 ・検査室の増設（2室 4室） ・検査前処置室（2室）、リカバリー室の設置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H24年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん手術件数（件）</td> <td>630</td> </tr> <tr> <td>化学療法患者数（人）</td> <td>4,638</td> </tr> <tr> <td>放射線治療件数（件）</td> <td>4,567</td> </tr> </tbody> </table> <p>・がん患者各人の状況等を十分考慮して、最適な治療を実施している。その結果、手術、化学療法、放射線治療とも前年度から増加している。年度計画目標に対して、化学療法患者数は92%だが、放射線治療件数が103%で、手術件数は125%と大幅に上回っている。</p>	指 標	H24年度実績	がん手術件数（件）	630	化学療法患者数（人）	4,638	放射線治療件数（件）	4,567			
指 標	H22年度実績	H28年度目標																															
がん手術件数（件）	494	540																															
化学療法患者数（人）	4,937	5,400																															
放射線治療件数（件）	4,397	4,600																															
指 標	H24年度目標																																
がん手術件数（件）	504																																
化学療法患者数（人）	5,036																																
放射線治療件数（件）	4,441																																
指 標	H24年度実績																																
がん手術件数（件）	630																																
化学療法患者数（人）	4,638																																
放射線治療件数（件）	4,567																																

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																			
		自己 評価	評価 結果	コメント																			
<p>(イ) 脳卒中・心筋梗塞</p> <p>脳卒中、心筋梗塞等については、内科と外科の連携のもと、より安全・確実な治療法を選択し、適切な対応に努める。</p> <p>脳血管救急疾患への迅速な診断、治療をはじめ、頭部外傷、脳腫瘍や頸椎・腰椎変形疾患に対する治療を行う。特に増加傾向にある、発症後3時間以内の治療が望まれる脳梗塞患者に対するt-PA(血栓溶解薬)の急性期静脈内投与や血行再建術等を要する治療に積極的に対応する。</p>	<p>評価項目 2</p> <p>(イ) 脳卒中・心筋梗塞</p> <p>内科系と外科系の連携のもと、より安全・確実な治療法を選択し、適切な対応に努める。</p> <p>脳卒中</p> <p>脳血管救急疾患への迅速な診断、治療をはじめ、頭部外傷、脳腫瘍や頸椎・腰椎変形疾患に対する治療を行う。特に増加傾向にある、発症後3時間以内の治療が望まれる脳梗塞患者に対するt-PA(血栓溶解薬)の急性期静脈内投与や血行再建術等を要する治療に積極的に対応する。</p> <p>脳卒中を発病して間もない患者に対しては、「脳卒中ユニット」(=神経内科医、脳神経外科医、理学療法士、作業療法士、言語療法士、看護師からなるチーム)が対応し、最適な治療方法を選択・加療し、早期の身体機能改善、社会復帰を目指す。</p>	<p>・ t-PAや血行再建術を要する脳血管救急疾患へは迅速に診断し、治療を行っている。</p> <p>・ 脳卒中とともに、脳腫瘍等の疾患に対する治療も積極的に実施している。</p> <p>○治療件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>頭部外傷</td> <td>215</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>脳腫瘍</td> <td>73</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>頸椎・腰椎変形疾患</td> <td>120</td> <td>168</td> </tr> </tbody> </table> <p>○t-PA実施件数(件)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>平成22年度</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 「脳卒中ユニットカンファレンス」を毎週開催し、脳卒中を発病した入院患者を中心に、早期改善を目指した最適な治療方法の検討を実施している。</p>		H23年度	H24年度	頭部外傷	215	202	脳腫瘍	73	88	頸椎・腰椎変形疾患	120	168	平成22年度	7	平成23年度	14	平成24年度	7			<p>t-PA等脳卒中に対する迅速な対応と、脳卒中ユニットによる発症後の早期改善・社会復帰と地域連携バスによるシームレスな病診連携の推進を図るとともに、脳卒中の患者のリハビリテーションを効率的に実践するために、将来的には、脳卒中リハビリテーション認定看護師の育成にも期待したい。</p> <p>虚血性心疾患に関しては、PCI+バイパス手術など高度医療のさらなる充実を中長期的な視点から期待したい。</p>
	H23年度	H24年度																					
頭部外傷	215	202																					
脳腫瘍	73	88																					
頸椎・腰椎変形疾患	120	168																					
平成22年度	7																						
平成23年度	14																						
平成24年度	7																						

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価							
		自己 評価	評価 結果	コメント							
<p>心筋梗塞を代表とする虚血性心疾患については、急性期カテーテル治療の充実を図り、積極的に対応するとともに、冠動脈バイパス術適応例には、低侵襲手術であるオフポンプ（人工心肺を使わない）手術で対応し、高齢者や合併症を有する患者のQOL（生活の質）向上に努める。その他、弁膜疾患、大動脈及び末梢血管の疾患等循環器領域全般においても、適切な対応に努める。</p>	<p>また、早期のリハビリテーション、かかりつけ医師の紹介を進め、高齢者に対してもQOL（生活の質）向上を目指した手術方法をすすめる。</p> <p>心筋梗塞</p> <p>心筋梗塞を代表とする虚血性心疾患については、急性期カテーテル治療の充実を図り、積極的に対応するとともに、冠動脈バイパス術適応例には、体に優しい低侵襲心臓手術であるオフポンプ（=人工心肺装置を使わず心臓を止めない）手術での対応に努める。</p>	<p>○脳卒中ユニットカンファレンスメンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳外科医師、・神経内科医師 ・リハビリ技師（理学療法士、作業療法士、言語療法士） ・薬剤師 ・病棟看護師 ・地域連携課（メディカル・ソーシャル・ワーカー等） <p>・脳卒中患者に対する地域連携クリニカルパスの運用等により、急性期を経過した患者の速やかな回復期リハビリテーション施設への移行等を図っている。</p> <p>○地域連携クリニカルパス（脳卒中件数）</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>平成22年度</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>121</td> </tr> </tbody> </table> <p>・虚血性心疾患については、オンコールによる365日24時間体制を敷き、ロータブレーター（ ）等の使用も含め、カテーテル治療（=PCI）の充実を図っている。</p> <p>・冠動脈バイパス手術適応例には、体に優しい心臓手術を目指し、低侵襲心臓手術であるオフポンプ手術での対応に努めている。</p> <p>ロータブレーター（高速回転冠動脈アテレクトミー）とは、カテーテル先端にダイヤモンドチップをコーティングしたバーが高速回転する機器であり、この活用により、効果的に血管内の非常に硬い組織を削り取ることが可能となる。</p>	平成22年度	89	平成23年度	84	平成24年度	121			
平成22年度	89										
平成23年度	84										
平成24年度	121										

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																												
		自己 評価	評価 結果	コメント																												
<p>また、個々の患者の状況等を十分考慮した上で、手術方法の選択を行うとともに、無輸血（＝自己血輸血）手術を推進する等により、高齢者や合併症を有する患者のQOL（生活の質）向上に努める。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H22年度実績</th> <th>H28年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PCI（経皮的冠動脈形成術）+冠動脈カテーテル手術数（件）</td> <td>217</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>t - PA + 脳血管手術数（件）</td> <td>130</td> <td>180</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H22年度実績	H28年度目標	PCI（経皮的冠動脈形成術）+冠動脈カテーテル手術数（件）	217	240	t - PA + 脳血管手術数（件）	130	180	<p>患者のQOLを考慮して、個々の患者の状況等を考慮して、自己血輸血手術の推進に努めている。</p> <p>○単独冠動脈バイパス手術件数（件）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オフポンプ手術数</td> <td>36</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>オンポンプ手術数</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>自己血輸血手術数</td> <td>10</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H24年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PCI（経皮的冠動脈形成術）+冠動脈カテーテル手術数（件）</td> <td>211</td> </tr> <tr> <td>t - PA + 脳血管手術数（件）</td> <td>144</td> </tr> </tbody> </table>		H23年度	H24年度	オフポンプ手術数	36	28	オンポンプ手術数	0	1	自己血輸血手術数	10	12	指 標	H24年度実績	PCI（経皮的冠動脈形成術）+冠動脈カテーテル手術数（件）	211	t - PA + 脳血管手術数（件）	144				
指 標	H22年度実績	H28年度目標																														
PCI（経皮的冠動脈形成術）+冠動脈カテーテル手術数（件）	217	240																														
t - PA + 脳血管手術数（件）	130	180																														
	H23年度	H24年度																														
オフポンプ手術数	36	28																														
オンポンプ手術数	0	1																														
自己血輸血手術数	10	12																														
指 標	H24年度実績																															
PCI（経皮的冠動脈形成術）+冠動脈カテーテル手術数（件）	211																															
t - PA + 脳血管手術数（件）	144																															
<p>（ウ）各診療科の高度化 総合病院として、高水準で良質な医療を提供するために、各々の診療科において、医療の高度化を目指す。</p>	<p>評価項目 3 （ウ）各診療科の高度化 総合病院として、高水準で良質な医療を提供するため、先進的な手術機器や検査機器の導入を積極的に図り、各診療科において、医療の高度化を目指す。</p>	<p>・各診療科の要望に応じて、医療機器の更新、増設を積極的に行い、各診療科の医療の高度化を促進している。 ・特に、平成24年度に拡充された「内視鏡センター」の設置に伴って、内視鏡検査・内視鏡手術機器の増設等を行い、関係診療科の診療の高度化を図った。 ・再開した眼科外来において、診療の質の高度化を図り、検査機器等を新設した。</p>			<p>高度で専門性の高い病院は他院からの紹介依頼を受けることが多い。 患者受診選択理由の一番は、他院からの紹介であることに留意し、引き続き、各診療科の高度化に取り組むことを希望する。</p>																											

大項目 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第2-1-(1)
	イ 救急医療 救命救急センターとして、365日24時間体制で重篤な患者に対応すること。また、ヘリポートを活用するなど積極的に広域的な対応を行うこと。

評価項目 4 救急医療

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価																
			自己評価	評価結果 コメント															
イ 救急医療 三次救急医療の役割を担い、ヘリポートを併設する救命救急センターとして、365日24時間高度・専門的治療が提供できるよう必要な医師の配置に努めるとともに、適切な病床管理により救急医療を提供し、広域的な患者の受け入れに対応する。	<p>評価項目 4 イ 救急医療</p> <p>三次救急医療の役割を担う診療体制を維持し、救命救急センターとして、高度・専門的な救急医療を提供し、重篤な患者を365日24時間体制で受け入れる。</p> <p>また、一次、二次の役割分担を明確にしなが、地域での救急輪番制の役割を果たす。</p>	<p>・三次救急医療の役割を担う診療体制を維持し、救命救急センターとして、救急医療を提供し、365日24時間体制で受け入れている。</p> <p>・夜間、休日においても、内科系、外科系、産婦人科、小児科医師と臨床研修医（2名）の医師に加え、オンコール体制をとり、常時専門的診療及び手術に対応できる体制を採っている。</p> <p>・四日市地域の二次救急については、四日市市立病院、四日市社会保険病院等とともに、四日市市及び菟野町の地区内での救急輪番制の役割を果たしている。</p> <p>また、「四日市市+菟野町」地区外からも、必要に応じて適宜、救急患者を受け入れ、地理的に近い鈴鹿市からは総数の10%を超える患者を受け入れている。</p> <p>○救急車搬送状況（H24年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>四日市市+菟野町</td> <td>3,894</td> <td>84.8</td> </tr> <tr> <td>地区外（鈴鹿市）</td> <td>507</td> <td>11.0</td> </tr> <tr> <td>地区外（その他）</td> <td>191</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,592</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>		件数	%	四日市市+菟野町	3,894	84.8	地区外（鈴鹿市）	507	11.0	地区外（その他）	191	4.2	計	4,592	100		<p>救急患者の受け入れ人数が増加していることについて評価できる。</p> <p>患者過剰や他の大規模手術が重複する場合等においても、救急患者を受け入れられるよう人員体制のさらなる充実を中長期的な視点から期待したい。</p>
	件数	%																	
四日市市+菟野町	3,894	84.8																	
地区外（鈴鹿市）	507	11.0																	
地区外（その他）	191	4.2																	
計	4,592	100																	
指標	H22年度実績 H28年度目標	指標	H24年度目標	指標	H24年度実績														

中期計画			年度計画 評価項目		業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント	
							自己 評価	評価 結果
救命救急センター入院患者数(人)	4,503	5,180	救命救急センター入院患者数(人)	4,683	救命救急センター入院患者数(人)	5,106		
救急患者受入数(人)	14,374	14,700	救急患者受入数(人)	14,446	救急患者受入数(人)	14,751		

大項目 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第2-1-(1)
	ウ 小児・周産期医療 小児・周産期医療の提供を確保するため、他の医療機関と連携及び機能分担を行いながら、地域周産期母子医療センターとしての機能を充実すること。

評価項目 5 小児・周産期医療

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価																						
			自己評価	評価結果 コメント																					
<p>ウ 小児・周産期医療</p> <p>北勢地域の周産期医療提供体制の充実が課題となっていることから、NICU、GCUの増床等の施設の整備を進め、周産期における母体の救急搬送や新生児の受入れに十分対応できる地域周産期母子医療センターの機能拡充を図る。</p> <p>さらに、その機能拡充に対応可能な時間外検査の充実を図る。</p>	<p>評価項目 5 ウ 小児・周産期医療</p> <p>北勢地域の周産期医療の充実を図るため、平成25年4月からの稼働に向け、NICU、GCUをそれぞれ3床から6床、7床から12床へ増床するなど、施設を拡充する。</p> <p>また、地域周産期母子医療センターとして、地域の分娩取扱機関及び他のセンターとの連携を強化し、ハイリスクの妊婦・胎児及び新生児を積極的に受け入れるとともに、総合的、専門的な医療を提供する。</p>	<p>・北勢地域の周産期医療の需要に応えるため、「周産期母子センター」を増改築し、NICU(3床 6床)、GCU(7床 12床)へ増床する等、施設の拡充を図り、平成25年4月から稼働することができた。</p> <p>・ハイリスク分娩を積極的に受け入れており、NICUの患者数は、昨年度から延べ50人増加し、年度目標を大幅に上回った。</p> <p>・地域周産期母子医療センターとして、NICU等増床の際に、地域の医療機関へ医師会を通じて広報するとともに、施設見学会等を実施し、積極的な受け入れ姿勢を示した。</p>		<p>周産期母子センターの増改築によるハード整備とともに、積極的に受け入れ姿勢を示したことにより、利用患者数の増加につながったことは評価できる。</p> <p>周産期母子センターとしての体制を確保するため引き続き、医師・看護師の増員などに取り組んでいただきたい。</p> <p>北勢地域の周産期医療提供体制の充実のための取組に期待する。</p>																					
<table border="1"> <tr> <th>指標</th> <th>H22年度実績</th> <th>H28年度目標</th> </tr> <tr> <td>NICU利用延べ患者数(人)</td> <td>716</td> <td>1,640</td> </tr> <tr> <td>【新生児特定集中治療室】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標	H22年度実績	H28年度目標	NICU利用延べ患者数(人)	716	1,640	【新生児特定集中治療室】			<table border="1"> <tr> <th>指標</th> <th>H24年度目標</th> </tr> <tr> <td>NICU利用延べ患者数(人)</td> <td>734</td> </tr> <tr> <td>【新生児特定集中治療室】</td> <td></td> </tr> </table>	指標	H24年度目標	NICU利用延べ患者数(人)	734	【新生児特定集中治療室】		<table border="1"> <tr> <th>指標</th> <th>H24年度実績</th> </tr> <tr> <td>NICU利用延べ患者数(人)</td> <td>1,015</td> </tr> <tr> <td>【新生児特定集中治療室】</td> <td></td> </tr> </table>	指標	H24年度実績	NICU利用延べ患者数(人)	1,015	【新生児特定集中治療室】			
指標	H22年度実績	H28年度目標																							
NICU利用延べ患者数(人)	716	1,640																							
【新生児特定集中治療室】																									
指標	H24年度目標																								
NICU利用延べ患者数(人)	734																								
【新生児特定集中治療室】																									
指標	H24年度実績																								
NICU利用延べ患者数(人)	1,015																								
【新生児特定集中治療室】																									

大項目 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第2-1-(1)
	工 感染症医療 感染症指定医療機関、エイズ治療拠点病院としての役割を果たすとともに、新型インフルエンザ等の新たな感染症に率先して対応すること。

評価項目 6 感染症医療

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価	
			自己評価	評価結果 コメント
工 感染症医療 第二種感染症指定医療機関として、新興・再興感染症の発生に備え、PPE（個人防護具）等必要な資器材を確保し、新型インフルエンザ等の新たな感染症に対して、専門的な医療を提供する。	評価項目 6 工 感染症医療 第二種感染症指定医療機関として、新型インフルエンザ等の新たな感染症に対して、専門的な医療を提供するとともに、PPE（個人防護具）等必要な資器材を確保し、不測の事態に備える。	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止委員会を毎月開催し、感染症情報、抗菌薬使用状況等を情報共有している。 ・PPE（個人防護具）については、新型インフルエンザ用のセットとして備蓄が十分あるが、日常的に使用するPPEの在庫数を増やし、期限切れが生じないよう流通させている。 ・新型インフルエンザ対策委員会設置要綱・マニュアルを、内外の環境変化に合わせて一部改訂をしながら、迅速かつ的確に危機管理が遂行できる基盤を整えている。 ・四日市港における検疫措置訓練に参加。検体提出の流れが通常の県内発生の場合とは異なることから、「検疫所からの患者受け入れ」についてのマニュアルを平成25年度から作成していく。 		新型インフルエンザに対応したマニュアルの改訂、「HIV診療委員会」の設置、県内のエイズ治療拠点病院と連携した患者データベースの作成について評価する。

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント
		自己 評価	評価 結果	
<p>また、エイズ治療拠点病院として、H I V感染症の治療を行うとともに、相談・検査機関との連携を図り、総合的、専門的な医療を提供する。</p>	<p>また、エイズ治療拠点病院として、H I V感染症の治療を行うとともに、相談・検査機関との連携を図り、患者に対する総合的、専門的な医療を提供する。</p>	<p>・これまでも、HIVカンファレンスとして、症例検討など実施してきたが、よりHIV感染症診療を充実させ、医療スタッフを支援することを目的として、「HIV診療委員会」を設置し、各職種の役割を明確にした。</p> <p>・看護部委員2名がエイズ治療関連研修に参加し、スキルアップを図った。</p> <p>○エイズ治療・研究開発センター研修 【日時】平成24年9月3日～7日(外来実習) 平成24年10月1日～5日(病棟実習) 【場所】国立国際医療センター病院 【参加者】外来実習1名、病棟実習1名 計2名</p> <p>・地域連携課のMSWは、各種制度に関する相談支援を継続している。</p> <p>・県内のエイズ治療拠点病院と連携し、共通の患者データベース管理ソフトを用い、匿名化によるデータ共有を進めている。</p>		

大項目 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期 目標	<p>第2 - 1 - (2) 信頼される医療の提供</p> <p>診療にあたっては、患者との信頼関係の構築に努め、ニーズを踏まえた最適な医療を提供すること。</p> <p>また、クリニカルパスの導入を推進するとともに、インフォームドコンセントの徹底やセカンドオピニオンの整備など体制の充実を図り、患者の視点に立って信頼される医療を推進すること。</p>
----------	---

評価項目 7～9 信頼される医療の提供

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント						
		自己 評価	評価 結果							
<p>(2) 信頼される医療の提供</p> <p>患者との信頼構築に努め、ニーズを踏まえた最適な医療を提供するとともに、より一層県民に信頼される質の高い医療を提供する。</p> <p>そのため、治療内容とタイムスケジュールを明確に示すことで患者の不安を解消するとともに、治療手順の標準化、平均在院日数の適正化など、最適な医療を提供するクリニカルパスを推進する。</p>	<p>(2) 信頼される医療の提供</p> <p>患者との信頼構築に努め、ニーズを踏まえた最適な医療を提供するとともに、より一層県民に信頼される質の高い医療を提供する。</p> <p>また、平成25年度の財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価の受審に向け、院内に作業部会等を設置し、準備を進める。</p>	<p>・患者との十分なコミュニケーションを踏まえ、患者のニーズに対応した最適な医療を提供するよう努めている。</p> <p>○患者アンケート調査での「医師」満足度(%)</p> <table border="1"> <tr> <td>平成22年度</td> <td>82.6</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>84.5</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>84.2</td> </tr> </table> <p>・平成25年度の財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価の受審に向け、平成24年11月に院内に作業部会等を設置し、準備を進めている。</p>	平成22年度	82.6	平成23年度	84.5	平成24年度	84.2		
平成22年度	82.6									
平成23年度	84.5									
平成24年度	84.2									

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価													
		自己評価	評価結果	コメント													
<p>また、検査及び治療の選択における患者の自己決定権を尊重し、疾病の特性、医療行為の内容と効果及び副作用・リスクに関して十分に説明し、理解を得るインフォームドコンセントを一層徹底する。セカンドオピニオンについても、要望に対して的確に対応する。</p> <p>さらに、診療科目の充実・拡充を図り、総合病院として患者から信頼される医療を提供することを目指す。</p> <table border="1" data-bbox="143 692 604 756"> <tr> <th>指 標</th> <th>H22年度実績</th> <th>H28年度目標</th> </tr> <tr> <td>クリニカルパス利用率(%)</td> <td>26.7</td> <td>40</td> </tr> </table>	指 標	H22年度実績	H28年度目標	クリニカルパス利用率(%)	26.7	40	<p>評価項目 7 ア クリニカルパスの推進 治療内容とタイムスケジュールを明確に示すことで患者の不安を解消するとともに、治療手順の標準化、平均在院日数の適正化など、最適な医療を提供するクリニカルパスを推進する。</p> <p>また、現在約50の疾病に対して用いているクリニカルパスの種類を増やすとともに、その利用率を高める方策を検討する。</p> <table border="1" data-bbox="672 692 1088 756"> <tr> <th>指 標</th> <th>H24年度目標</th> </tr> <tr> <td>クリニカルパス利用率(%)</td> <td>29.4</td> </tr> </table>	指 標	H24年度目標	クリニカルパス利用率(%)	29.4	<p>・院内のクリニカルパス委員会を開催する等により職員の啓発を図り、クリニカルパスを推進することで、医療の標準化及び質の向上を進めている。</p> <p>・クリニカルパスが107種類となり、その利用率が、平成24年度には38.6%と向上し、年度目標を上回った。</p> <table border="1" data-bbox="1155 692 1572 756"> <tr> <th>指 標</th> <th>H24年度実績</th> </tr> <tr> <td>クリニカルパス利用率(%)</td> <td>38.6</td> </tr> </table>	指 標	H24年度実績	クリニカルパス利用率(%)	38.6	<p>クリニカルパスの種類を増やし、利用率を向上させていることは評価できる。さらなる利用率の向上に取り組むとともに、患者満足度の視点に立った医療の質の向上に努められることを期待したい。</p>
	指 標	H22年度実績	H28年度目標														
クリニカルパス利用率(%)	26.7	40															
指 標	H24年度目標																
クリニカルパス利用率(%)	29.4																
指 標	H24年度実績																
クリニカルパス利用率(%)	38.6																
<p>評価項目 8 イ インフォームドコンセントの徹底 検査及び治療の選択における患者の自己決定権を尊重し、疾病の特性、医療行為の内容と効果及び副作用・リスクに関して、患者が理解できる言葉で十分に説明し、理解を得るインフォームドコンセントを一層徹底し、最適な医療を提供する。</p> <p>また、セカンドオピニオンについて、当院の患者が他院での実施を希望される場合でも適切に対応し、医療への信頼性の向上に努める。</p>	<p>○患者アンケート調査での「医師」満足度(%)</p> <table border="1" data-bbox="1155 887 1572 1053"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>話を十分に聞いてくれたか</td> <td>85.1</td> <td>84.8</td> </tr> <tr> <td>説明を十分にしてくれたか</td> <td>83.4</td> <td>83.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>セカンドオピニオンについては、他院からの希望者には適切に対応するとともに、当院の患者から相談があった場合には、手続、費用面等について丁寧な説明を実施している。</p>		H23年度	H24年度	話を十分に聞いてくれたか	85.1	84.8	説明を十分にしてくれたか	83.4	83.7	<p>患者満足度を向上させる要素として、十分なインフォームドコンセントが不可欠であり、その徹底を図らねばならない。セカンドオピニオンについては、今後も対応件数の増加に努められることを期待したい。</p>						
			H23年度	H24年度													
話を十分に聞いてくれたか	85.1	84.8															
説明を十分にしてくれたか	83.4	83.7															

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価											
		自己 評価	評価 結果	コメント											
		○セカンドオピニオン対応件数【外来】 <table border="1"> <tr> <td>平成22年度</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>12件</td> </tr> </table>		平成22年度	13件	平成23年度	9件	平成24年度	12件						
平成22年度	13件														
平成23年度	9件														
平成24年度	12件														
	評価項目 9 ウ 診療科目の充実 現在、休診となっている診療科や常勤医がいない診療科について、三重大学等へ、その確保について要請・協議する。	・平成24年4月時点では、常勤医がいない診療科が、「眼科」、「耳鼻いんこう科」の2診療科であったが、平成25年1月に三重大学から眼科医が赴任し、眼科外来を再開した。 ・引き続き大学等にはたらきかけを続け、耳鼻いんこう科医師の確保に努める。			周産期母子センターの運営には眼科医が必要であることも踏まえ、常勤眼科医の確保、又は地域住民への幅広い医療の提供という観点から、眼科外来の再開は評価できる。 耳鼻いんこう科医師を含めた常勤医の確保について、引き続き努めていただきたい。										
		○医師の配置数、現在員数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24度当初 (H24.4)</th> <th>H24度末 (H25.3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配置数</td> <td>97</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>現在員数</td> <td>93</td> <td>96</td> </tr> </tbody> </table>			H24度当初 (H24.4)	H24度末 (H25.3)	配置数	97	97	現在員数	93	96			
	H24度当初 (H24.4)	H24度末 (H25.3)													
配置数	97	97													
現在員数	93	96													

大項目 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期 目標	第2 - 1 - (3) 医療安全対策の徹底 医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる環境を提供するため、医療安全対策を徹底すること。
----------	--

評価項目 10 医療安全対策の徹底

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価													
			自己 評価	評価 結果 コメント												
(3) 医療安全対策の徹底 病院におけるインシデントやアクシデントに関する情報の収集・分析の徹底を図り、その結果を全職員で情報共有するとともに医療安全研修の実施などにより、医療安全に対する意識向上と再発防止に努める。 さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる環境を提供するなど、医療安全対策を徹底する。	評価項目 10 (3) 医療安全対策の徹底 病院で発生するヒヤリハット事例について、必要に応じてリスクマネージャーが調査の上、再発防止対策を指導するなど、きめ細やかに対応する。 また、毎月開催する「リスクマネジメント部会」で、病院におけるインシデントやアクシデントに関する情報の収集・分析の徹底を図り、その結果を全職員で情報共有するとともに医療安全研修を実施することにより、医療安全に対する意識向上と再発防止に努める。	・病院全体でヒヤリハット事例を報告する態勢を確立しており、その報告を元に、必要に応じてリスクマネージャーがきめ細かく対応、指導している。 ・毎月開催される「リスクマネジメント部会」において、インシデント、アクシデントの情報を収集・分析するとともに、その結果を「Med Safe News」（医療安全ニュース）という形で、全職員に周知することにより、意識向上と再発防止に努めている。 ○インシデント・アクシデント件数（件） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td style="text-align: center;">1,154</td> <td style="text-align: center;">1,161</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">1,168</td> <td style="text-align: center;">1,167</td> </tr> </tbody> </table> ○医療安全に関する研修実績 接遇・医療安全研修 【日時】平成24年9月20日 【内容】医療過誤、接遇問題に関する寸劇を交えた研修		H23年度	H24年度	インシデント	1,154	1,161	アクシデント	14	6	計	1,168	1,167		引き続きインシデントレポートの根本原因分析を積極的に行っていただきたい。
	H23年度	H24年度														
インシデント	1,154	1,161														
アクシデント	14	6														
計	1,168	1,167														

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価	
			自己 評価	評価 結果 コメント
	<p>医療の安全のために制定された「院内感染対策指針」や「医療安全管理指針」を精査するとともに、その遵守に努める。</p>	<p>・「医療安全管理指針」や「院内感染対策指針」とそれに付随する規程等の改正を法人化に合わせて行った。 また、このことを全職員に意識付けしていくよう周知、啓発を行った。</p>		

大項目 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期 目標	<p>第2-1-(4) 患者・県民サービスの向上</p> <p>診察、検査、会計等にかかる待ち時間の改善、プライバシーの確保に配慮した院内環境の整備、相談体制の充実など、病院が提供するサービスについて患者の利便性の向上を図ること。</p> <p>また、患者や家族、県民から信頼を得られるよう、職員の意識を高め接遇の向上に取り組むこと。</p>
----------	---

評価項目 1.1～1.5 患者・県民サービスの向上

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価															
		自己 評価	評価 結果	コメント															
<p>(4) 患者・県民サービスの向上</p> <p>定期的に患者満足度調査を実施し、課題等を把握して対策を講じ、患者の利便性や満足度の向上を図るとともに、電子カルテ導入によるペーパーレス化、フィルムレス化や他科の診療情報の共有など医療体制の充実や業務の効率化を図りつつ、診療予約制度の効率的な運用などを行い、待ち時間の短縮に努める。</p> <p>また、患者のプライバシー確保に配慮し、個人情報の保護対策等と院内環境の整備に努める。</p> <p>さらに、退院相談、医療費・医療扶助等の相談や、医療・健康に関する情報提供など、相談支援体制を充実させる。</p> <p>また、病院の持つ専門的医療情報を基に、県民を対象にした公開講座の開催や、ホームページ等により、疾病や健康等に関する保健医療情報の発信及び普及に取り組む。</p>	<p>(4) 患者・県民サービスの向上</p> <p>評価項目 1.1</p> <p>ア 患者満足度の向上</p> <p>入院患者・外来患者を含めた患者満足度調査を年1回実施し、その結果の分析により把握した課題等への対策を病院の管理・運営に反映させ、患者の利便性や満足度の向上を図る。</p>	<p>○患者アンケート調査</p> <p>入院：平成24年11月～12月 (回答者数285名)</p> <p>外来：平成24年11月15日、16日 (回答者数320名)</p> <p>・患者満足度の指標である「当院推薦」に関しては、入院86.7%、外来81.9%となり、年度目標に対して3.7ポイント下回った。</p> <p>・満足度が低下した理由としては、「わからない」という中間回答が増加したことによるものであり、「当院不推薦」の回答も入院0.7%、外来0.3%と昨年度より改善していることから、患者満足度は非常に高い数値を示している。</p> <p>・患者アンケート調査の自由記述欄をみると、診療待ち時間の短縮、患者に対する応対及び売店の充実といった課題が把握できるため、平成25年度において、改善策を検討していく。</p>			<p>患者満足度の指標である「当院推薦」は目標を下回ったものの、概ね高い水準を維持している。</p> <p>患者のスタッフへの信頼が病院に対する信頼となり満足度アップにつながる。診療科・病棟による満足度に差があり、その平均化を期待する。</p> <p>「当院推薦」も含めて、「待ち時間」や「職員の評価」などの各調査項目の結果についても引き続き分析のうえ、課題の把握と改善に努められたい。また、「当院推薦」の設問に対する「わからない」という回答については、その増加を問題視して欲しい。</p>														
<table border="1"> <tr> <th>指 標</th> <th>H22年度実績</th> <th>H28年度目標</th> </tr> <tr> <td>患者満足度 (%)</td> <td>86.7</td> <td>90</td> </tr> </table>	指 標	H22年度実績	H28年度目標	患者満足度 (%)	86.7	90	<table border="1"> <tr> <th>指 標</th> <th>H24年度目標</th> </tr> <tr> <td>患者満足度 (%)</td> <td>88</td> </tr> </table>	指 標	H24年度目標	患者満足度 (%)	88	<table border="1"> <tr> <th>指 標</th> <th>H24年度実績</th> </tr> <tr> <td>患者満足度 (%)</td> <td>84.3</td> </tr> </table>	指 標	H24年度実績	患者満足度 (%)	84.3			
指 標	H22年度実績	H28年度目標																	
患者満足度 (%)	86.7	90																	
指 標	H24年度目標																		
患者満足度 (%)	88																		
指 標	H24年度実績																		
患者満足度 (%)	84.3																		

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																
		自己 評価	評価 結果	コメント																
	<p>評価項目 12</p> <p>イ 待ち時間の短縮</p> <p>診察における検査結果の待ち時間の短縮を図るため、検査のスピードアップ化、検体等の搬送設備の更新によるトラブルの解消を図る。</p> <p>また、会計での時間短縮や利便性向上のため、カード決済や自動精算機を活用する。</p>	<p>・検査部門の自動分析装置の更新・連結による検体の自動搬送等により、検査結果のスピードアップ化を図った。</p> <p>・会計での待ち時間短縮のため、フロアマネージャーを配置し、カード利用案内や自動精算機操作補助により、時間短縮とサービス向上を図っている。</p> <p>○クレジットカード利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>9,061</td> <td>11,501</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>203,136千円</td> <td>220,756千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○自動精算機利用実績(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用率</td> <td>44.4</td> <td>54.9</td> </tr> </tbody> </table>		平成23年度	平成24年度	件数	9,061	11,501	金額	203,136千円	220,756千円		平成23年度	平成24年度	利用率	44.4	54.9			
	平成23年度	平成24年度																		
件数	9,061	11,501																		
金額	203,136千円	220,756千円																		
	平成23年度	平成24年度																		
利用率	44.4	54.9																		
	<p>評価項目 13</p> <p>ウ 個人情報の保護</p> <p>患者のプライバシー確保に配慮し、法人化に合わせて「個人情報保護規程」を見直し整備するなど、個人情報の保護対策等と院内環境の整備に努める。さらに、カルテ開示等の個人の診療情報やその他情報公開請求時等における医療情報提供を適切に行う。</p>	<p>・法人化に合わせて「個人情報保護規程」を改訂するとともに、個人情報保護対策に関する各種研修を実施した。</p> <p>○研修概要</p> <p>個人情報管理研修（オンライン） 【日時】平成24年4月2日 【対象】初期臨床研修医（8名全員） 【内容】患者情報の取扱等</p> <p>文書主任及び情報公開・個人情報保護制度推進研修 【日時】平成24年12月14日 【対象】事務局幹部職員 【内容】・公文書管理規程の改正内容 ・情報公開、個人情報推進要綱の改正内容 ・個人情報保護制度の適正運用</p> <p>について、県情報公開課が実施した研修を受けた文書主任・情報公開推進員による伝達研修（後日、事務局職員全員へ伝達）</p>																		

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価														
		自己 評価	評価 結果	コメント														
		<p>・個人情報保護条例に基づき、請求者が求める情報を聴き取り、全ての請求に適切に対応するとともに、できる限り即日に関示するよう努めた。</p> <p>○カルテ開示請求件数・開示件数（件）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>35</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>35</td> <td>72</td> </tr> </tbody> </table>			平成23年度	平成24年度	請求件数	35	72	開示件数	35	72						
	平成23年度	平成24年度																
請求件数	35	72																
開示件数	35	72																
	<p>評価項目 14</p> <p>エ 相談体制の充実</p> <p>地域連携室「かけはし」において、退院相談、医療扶助制度・福祉施設等の相談、医療・健康に関する情報提供などについて、入院初期から対応し、相談支援体制の充実を図る。</p>	<p>・地域連携課において、相談等各種のきめ細かい対応を行うとともに、退院支援のフローチャートを確立し、全病棟へ周知徹底することにより各職種の役割分担が明確になった。</p> <p>このことにより効率的な退院支援が可能となり、在宅移行の割合の向上に繋がっている。さらには紹介率・逆紹介率の向上にも貢献している。</p> <p>・今後の医療福祉等各種相談ニーズの増加に対応するため、平成25年4月1日からMSW（メディカル・ソーシャル・ワーカー）を2名から3名に増員配置できるよう対処した。</p> <p>在宅移行の割合、紹介率等の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>在宅移行の割合(%)</td> <td>31.7</td> <td>36.5</td> </tr> <tr> <td>紹介率(%)</td> <td>58.0</td> <td>63.4</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率(%)</td> <td>47.0</td> <td>49.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>在宅移行の割合(%) = 在宅移行者数 / 退院調整患者数 × 100</p>			H23年度	H24年度	在宅移行の割合(%)	31.7	36.5	紹介率(%)	58.0	63.4	逆紹介率(%)	47.0	49.8			<p>在宅移行の割合が向上するなど、成果が数値となって表れている。また、増員により体制が強化された。</p> <p>今後も退院調整業務が一層充実されることを期待する。</p>
	H23年度	H24年度																
在宅移行の割合(%)	31.7	36.5																
紹介率(%)	58.0	63.4																
逆紹介率(%)	47.0	49.8																

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価	
		自己 評価	評価 結果	コメント	
	評価項目 15 オ 保健医療情報の発信 病院の持つ専門的医療情報を基に、がん等をテーマに県民を対象にした公開講座を開催し、年4回発行する広報誌「医療センターニュース」やホームページ等に疾病や健康等に関する必要な情報を掲載するなど、保健医療情報の発信及び普及に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期発行（年4回）している広報誌「医療センターニュース」において、病院の情報に加え、インフルエンザの予防対策や食事栄養管理等、保健医療情報の発信に取り組んでいる。 ・ホームページにおいては、病院の各診療科の情報に加え、物忘れ外来等の専門外来の情報提供も行っている。 ・10月には「がん市民公開講座」を開催し、地域住民への医療・健康に関連する情報の発信・普及に努めた。 			ホームページと「医療センターニュース」の内容が充実されたことが確認できる。 さらに、総合医療センターの取組を積極的・効果的に発信していただきたい。

大項目 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第2-2 非常時における医療救護等
	<p>大規模災害の発生等非常時には、県全体の医療提供体制を確保するため、県民に対するセーフティネットの役割を的確に果たすとともに、県外における大規模災害発生時にも医療救護等の協力を行うこと。</p> <p>(1) 大規模災害発生時の対応</p> <p>東海地震、東南海・南海地震など大規模災害発生時には、医療救護活動の拠点としての機能を担うとともに、災害派遣医療支援チーム(DMAT)の県内外への派遣など医療救護活動に取り組むこと。</p> <p>また、基幹災害医療センターとして、DMATなどの要員の育成や災害医療訓練を行うなど大規模災害発生時に備えた機能の充実を図ること。</p>

評価項目 16 大規模災害発生時の対応

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント
		自己評価	評価結果	
<p>2 非常時における医療救護等</p> <p>大規模災害の発生等非常時には、県全体の医療提供体制を確保するため、県民に対するセーフティネットの役割を的確に果たすとともに、県外における大規模災害発生時にも医療救護等の協力を行う。</p> <p>(1) 大規模災害発生時の対応</p> <p>東海地震、東南海・南海地震など大規模災害発生時には、基幹災害医療センターとして、被災患者を受け入れるとともに、知事の要請に応じて災害派遣医療チーム(DMAT)を県内外へ派遣するなど、救護活動を行う。</p> <p>また、大規模災害を想定したトリアージ訓練や、基幹災害医療センターとして他の災害拠点病院を対象とした研修などを定期的に行い、災害医療に対応可能な体制を整備し、機能の拡充を図る。</p>	<p>2 非常時における医療救護等</p> <p>大規模災害の発生等非常時には、県全体の医療提供体制を確保するため、県民に対するセーフティネットの役割を的確に果たすとともに、県外における大規模災害発生時にも医療救護等の協力を行う。</p> <p>評価項目 16</p> <p>(1) 大規模災害発生時の対応</p> <p>大規模災害発生時には、「基幹災害医療センター」として、患者を受け入れるとともに、知事の要請に応じて災害派遣医療チーム(DMAT)を県内外へ派遣するなど、救護活動において指導的役割を發揮する。</p> <p>また、大規模災害を想定したトリアージによる病態別の救急医療や患者搬送等、実践的な訓練や机上訓練を行い、災害医療に対応可能な体制を整備するとともに、災害時に即応できる、職員への連絡体制、配備計画等の整備に努める。</p>			<p>防災訓練については、職員だけでなく、学生や地域住民等も巻き込んで実施しており、災害発生時に広く効果的な対応ができるよう努めていることが評価できる。</p> <p>引き続き基幹災害拠点病院として、DMAT隊員の教育・訓練の実施をお願いする。</p>

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価	
		自己 評価	評価 結果	コメント	
	<p>さらに、他の災害拠点病院を対象とした研修を行い、災害時に必要となる資器材を確保・常備する。</p>	<p>○エマルゴ訓練 【日時】平成24年7月13日 【訓練内容】 ・エマルゴトレーニングシステムによる机上訓練 【参加人員】 職員80名、見学者7名(3機関)</p> <p>○防災訓練 【日時】平成24年11月10日 【訓練内容】 ・緊急地震速報対応訓練 ・災対本部設置運営訓練 ・医療救護活動訓練 ・NBC災害()対応訓練 ・災害時給食調理訓練 等 【参加人員・病院】 ・職員161名 ・看護学生等54名(4校) ・地元自治会、ボランティア40名(4団体) ・見学者20名(行政機関3、医療機関4)</p> <p>NBC災害とは、核物質、生物剤、化学物質が使用される特殊災害のこと</p> <p>・基幹災害拠点病院として、医療機関向けに災害時における救急医療をテーマとした講演会、パネルディスカッションを実施した。</p> <p>○講演会 【日時】平成24年6月30日 【テーマ】災害時における救急医療 【参加人員・病院】 100名以上 災害拠点病院3病院 27名</p> <p>・災害時に必要となる資器材として、防災除染テント、化学薬剤検知器等を確保充実させた。</p>			

大項目 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期 目標	<p>第2 - 2 - (2) 公衆衛生上の重大な危機が発生した場合の対応</p> <p>新型インフルエンザ等の新たな感染症が発生した場合には、知事の要請に応じて患者を受け入れるなど、迅速に対応すること。</p>
----------	--

評価項目 17 公衆衛生上の重大な危機が発生した場合の対応

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価	
			自己 評価	評価結 果 コメント
<p>(2) 公衆衛生上の重大な危機が発生した場合の対応</p> <p>新型インフルエンザ等の新たな感染症が発生した場合には、知事の要請に応じて、県と連携しながら、患者を受け入れるなど迅速、的確に対応する。</p>	<p>評価項目 17</p> <p>(2) 公衆衛生上の重大な危機が発生した場合の対応</p> <p>新型インフルエンザ等の公衆衛生上の重大な危機が発生した場合には、知事の要請に応じて、県と連携しながら、迅速・的確に対応する。</p>	<p>・新型インフルエンザ等の公衆衛生上の重大な危機が発生した場合には、知事の要請に応じて、県と連携しながら、迅速・的確に対応する必要がある。そのため、新型インフルエンザ対策委員会設置要綱・マニュアルを、内外の環境変化に合わせて一部改訂をし、迅速かつ的確に危機管理が遂行できる態勢を整えている。</p>		

大項目 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期 目標	<p>第2 - 3 医療に関する地域への貢献</p> <p>地域医療を支える他の医療機関と密接に連携し支援することにより、地域の医療機関からも信頼される病院となること。</p> <p>(1) 地域の医療機関との連携強化</p> <p>地域連携クリニカルパスの活用など病病連携・病診連携を推進し、県民に適切な医療を提供できる体制を構築すること。</p>
----------	---

評価項目 18 地域の医療機関との連携強化

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント													
		自己 評価	評価 結果														
<p>3 医療に関する地域への貢献</p> <p>地域医療を支える周辺の医療機関と密接に連携し支援することにより、地域の医療機関からも信頼される病院を目指す。また、四日市公害患者に対する治療は引き続き的確に対応していく。</p> <p>(1) 地域の医療機関との連携強化</p> <p>救命救急センターを併設する急性期病院として、紹介患者の受入れ、逆紹介による退院調整及び地域連携クリニカルパスの更なる活用等により、地域の医療機関との一層の連携を図り効果的で質の高い医療を提供し、地域医療の向上に貢献する。</p>	<p>3 医療に関する地域への貢献</p> <p>地域医療を支える周辺の医療機関と密接に連携し支援することにより、地域の医療機関からも信頼される病院を目指す。また、四日市公害患者に対する治療は引き続き的確に対応する。</p> <p>評価項目 18</p> <p>(1) 地域の医療機関との連携強化</p> <p>四日市医師会との病診連携運営委員会を定期的開催するとともに、地域の中核病院として、地域の医療機関との連携を強化し、紹介患者の積極的な受け入れ、退院調整及び地域連携クリニカルパスの更なる活用等による患者の逆紹介も推進する。</p>			<p>病診連携運営委員会は地区医師会との連携のうえで大変重要である。</p> <p>紹介率・逆紹介率を向上させ、地域医療支援病院の承認実現に向けた環境づくりが行われたり、セミオープンベッドの利用率の向上や紹介患者数の大幅増加、地域連携クリニカルパス件数や講演会・研究会実施件数の増加など、様々な成果がみられた。</p> <p>今後は、セミオープンベット利用率のさらなる向上、病診連携での検査の増加、退院調整や地域連携クリニカルパスの活用による在宅医療への患者移行の増加について期待する。</p>													
		<p>・病診連携運営委員会を定期的開催するとともに、内視鏡センター開設に伴い関連医療機関を訪問し案内、見学の依頼等を行い、地域の医療機関との連携の強化を図った。また、紹介患者の積極的受け入れ、退院調整、逆紹介等を推進した。</p> <p>・その結果、平成24年度には紹介率60%、逆紹介率30%を達成し、「地域医療支援病院」の承認要件を満たすことができた。</p> <p>・第1回「地域医療支援病院運営委員会」を平成25年3月21日に開催し、「地域医療支援病院」の承認取得に向けて、地域医療機関等との更なる連携の強化を図ることとした。</p>															
		<p>○紹介率・逆紹介率の状況(%)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22度</th> <th>H23度</th> <th>H24度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>55.6</td> <td>58.0</td> <td>63.4</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>30.7</td> <td>47.0</td> <td>49.8</td> </tr> </tbody> </table>			H22度	H23度	H24度	紹介率	55.6	58.0	63.4	逆紹介率	30.7	47.0	49.8		
	H22度	H23度	H24度														
紹介率	55.6	58.0	63.4														
逆紹介率	30.7	47.0	49.8														

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価													
		自己 評価	評価 結果	コメント													
<p>また、医療機関、県民を対象とした研究会・講演会等を定期的実施し、地域医療水準の向上に寄与していく。</p>	<p>「登録医制度」や「セミオープンベッド」（開放型病床）、病診連携検査の効果的活用により、地域の医療機関との相互連携を一層進め、それぞれの特性を生かしながら機能分担を図り、地域医療全体にとって効果的で質の高い医療の提供に貢献する。</p> <p>また、医療機関や福祉施設の職員を対象に、地域ニーズや時宜を得たテーマによる研究会・講演会等を実施し、地域医療水準の向上に寄与する。</p>	<p>○病診連携運営委員会の開催状況</p> <p>第1回 H24年5月21日 出席 17名 第2回 H24年9月24日 出席 19名 第3回 H25年1月28日 出席 19名</p> <p>・地域の医療機関との相互連携を一層進めるため、「セミオープンベッド」（開放型病床 = 5床）、病診連携検査を効果的に活用し、各々の機能分担を図っている。</p> <p>・登録医制度について 新規登録 5件 ・医療協力関連連携の申請 ・・・3施設から申請 ・在宅療養支援協力病院の申請 ・・・2病院から申請</p> <p>○セミオープンベッド等の利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23度</th> <th>H24度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セミオープンベッド(実人数)</td> <td>162</td> <td>158</td> </tr> <tr> <td>セミオープンベッド利用率(%)</td> <td>48.4</td> <td>73.0</td> </tr> <tr> <td>病診連携検査(件)</td> <td>1,354</td> <td>1,305</td> </tr> </tbody> </table> <p>セミオープンベッド数は、8床(～H23.9)</p> <p>・平成24年度では、地域の医療機関や福祉施設の職員を対象とした講演会・研究会を計17回実施して、地域の医療水準の向上を図った。</p>		H23度	H24度	セミオープンベッド(実人数)	162	158	セミオープンベッド利用率(%)	48.4	73.0	病診連携検査(件)	1,354	1,305			
	H23度	H24度															
セミオープンベッド(実人数)	162	158															
セミオープンベッド利用率(%)	48.4	73.0															
病診連携検査(件)	1,354	1,305															

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価																																																															
			自己 評価	評価 結果 コメント																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H22年度実績</th> <th>H28年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介患者数（人）</td> <td>5,747</td> <td>6,400</td> </tr> <tr> <td>紹介率（％）</td> <td>55.6</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>地域連携クリニカルバス件数（件）</td> <td>160</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>退院調整患者数（人）</td> <td>734</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>医療機関、県民を対象とした研究会・講演会等の実施回数（回）</td> <td>12</td> <td>12以上</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H22年度実績	H28年度目標	紹介患者数（人）	5,747	6,400	紹介率（％）	55.6	65	地域連携クリニカルバス件数（件）	160	180	退院調整患者数（人）	734	800	医療機関、県民を対象とした研究会・講演会等の実施回数（回）	12	12以上	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H24年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介患者数（人）</td> <td>6,070</td> </tr> <tr> <td>紹介率（％）</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>地域連携クリニカルバス件数（件）</td> <td>165</td> </tr> <tr> <td>退院調整患者数（人）</td> <td>749</td> </tr> <tr> <td>医療機関、県民を対象とした研究会・講演会等の実施回数（回）</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H24年度目標	紹介患者数（人）	6,070	紹介率（％）	60	地域連携クリニカルバス件数（件）	165	退院調整患者数（人）	749	医療機関、県民を対象とした研究会・講演会等の実施回数（回）	12	<p>○講演会・研究会実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回 数</th> <th>院 外 出席者数</th> <th>院 内 出席者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学術講演会</td> <td>12</td> <td>130</td> <td>382</td> </tr> <tr> <td>症例検討会</td> <td>2</td> <td>20</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>地域支援講習会</td> <td>3</td> <td>109</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17</td> <td>259</td> <td>471</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H24年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介患者数（人）</td> <td>6,737</td> </tr> <tr> <td>紹介率（％）</td> <td>63.4</td> </tr> <tr> <td>地域連携クリニカルバス件数（件）</td> <td>201</td> </tr> <tr> <td>退院調整患者数（人）</td> <td>935</td> </tr> <tr> <td>医療機関、県民を対象とした研究会・講演会等の実施回数（回）</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>		回 数	院 外 出席者数	院 内 出席者数	学術講演会	12	130	382	症例検討会	2	20	89	地域支援講習会	3	109	-	計	17	259	471	指 標	H24年度実績	紹介患者数（人）	6,737	紹介率（％）	63.4	地域連携クリニカルバス件数（件）	201	退院調整患者数（人）	935	医療機関、県民を対象とした研究会・講演会等の実施回数（回）	17		
指 標	H22年度実績	H28年度目標																																																																
紹介患者数（人）	5,747	6,400																																																																
紹介率（％）	55.6	65																																																																
地域連携クリニカルバス件数（件）	160	180																																																																
退院調整患者数（人）	734	800																																																																
医療機関、県民を対象とした研究会・講演会等の実施回数（回）	12	12以上																																																																
指 標	H24年度目標																																																																	
紹介患者数（人）	6,070																																																																	
紹介率（％）	60																																																																	
地域連携クリニカルバス件数（件）	165																																																																	
退院調整患者数（人）	749																																																																	
医療機関、県民を対象とした研究会・講演会等の実施回数（回）	12																																																																	
	回 数	院 外 出席者数	院 内 出席者数																																																															
学術講演会	12	130	382																																																															
症例検討会	2	20	89																																																															
地域支援講習会	3	109	-																																																															
計	17	259	471																																																															
指 標	H24年度実績																																																																	
紹介患者数（人）	6,737																																																																	
紹介率（％）	63.4																																																																	
地域連携クリニカルバス件数（件）	201																																																																	
退院調整患者数（人）	935																																																																	
医療機関、県民を対象とした研究会・講演会等の実施回数（回）	17																																																																	

大項目 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期 目標	<p>第2-3-(2) 医師不足等の解消への貢献</p> <p>へき地医療拠点病院として、へき地の医療に対する支援体制を充実するとともに、医師不足の深刻な公立病院に対して医師を派遣するなど、地域の医療提供体制の確保に貢献すること。</p>
----------	---

評価項目 19 医師不足等の解消への貢献

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価													
			自己 評価	評価 結果 コメント												
<p>(2) 医師不足等の解消への貢献</p> <p>臨床研修医の確保・育成等を通じて医師を充足させ、へき地医療拠点病院として、代診医の派遣や、医師不足が深刻な公立病院を中心に外来診療等の診療応援をするなど、地域の医療提供体制の確保に貢献する。</p>	<p>評価項目 19</p> <p>(2) 医師不足等の解消への貢献</p> <p>地域の医療提供に貢献できる体制を整備するため、平成24年度から新設する「臨床研修センター」の活用による臨床研修医の確保・育成等を通じて医師の充足を図っていく。</p> <p>また、医師不足が深刻な公的病院の支援については、「へき地医療拠点病院」として、県や三重大学等と連携しながら代診要請への対応等の支援を行う。</p>	<p>・臨床研修医は、平成23年度は26名であったが、平成24年度は最大30名を確保し、医師の充足を図った。</p> <p>○臨床研修医の内訳(4月1日時点)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23度</th> <th>H24度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初期臨床研修医</td> <td>16</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>後期臨床研修医等</td> <td>10</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>26</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>・へき地における代診要請に伴う医師の派遣は、平成23年度は1件あったが、平成24年度では代診要請がなかった。 代診要請があれば、積極的に支援に努めていく。</p>		H23度	H24度	初期臨床研修医	16	17	後期臨床研修医等	10	13	計	26	30		<p>医学実習生にアピールできるものを他の病院より、一つでも多く取り組んでいただきたい。例えば、医局の場所・スペースの問題を解決する等、医師に快適な医局の提供をお願いしたい。</p> <p>へき地医療拠点病院としてへき地における代診要請に対応できる体制の整備・連携強化に期待したい。</p>
	H23度	H24度														
初期臨床研修医	16	17														
後期臨床研修医等	10	13														
計	26	30														

大項目 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期 目標	第2 - 4 医療に関する教育及び研修
	医療従事者にとって魅力ある病院となるよう関係機関と連携して教育及び研修の充実を図ること。また、院内のみならず県内の医療水準の向上が図られるよう医療従事者の育成を行うこと。 (1) 医師の確保・育成 三重大学等と連携して指導医を確保するとともに、積極的に臨床研修医等を受け入れ、優れた医師の育成を行うこと。

評価項目 20 医師の確保・育成

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント
		自己 評価	評価 結果	
<p>4 医療に関する教育及び研修</p> <p>医療従事者の向上心に応える病院となるよう関係機関と連携して教育及び研修の充実を図る。また、院内のみならず県内の医療水準の向上が図られるよう医療従事者の育成に努める。</p> <p>(1) 医師の確保・育成</p> <p>医療の水準の維持・向上のため、三重大学等と連携して、診療能力の向上及び診療技術の習得に関する指導・研修体制を整備し、研修プログラムの内容の充実を図ることで積極的に臨床研修医等を受け入れ、優れた医師を育成し、本県への医師の定着を促進する。</p> <p>さらには、「臨床研修センター」を設置し、シミュレーターを使った研修ができるなど研修環境を整備するとともに、三重大学の連携大学院を効果的に運営する。</p>	<p>4 医療に関する教育及び研修</p> <p>院内のみならず県内の医療水準の向上を図るため、地方独立行政法人化に合わせて、平成24年度から新たな組織として設置する「臨床研修センター」を中心に、医療従事者のニーズに応える研修を実施する。</p> <p style="text-align: center;">評価項目 20</p> <p style="text-align: center;">(1) 医師の確保・育成</p> <p>「臨床研修センター」において、シミュレーターを使った研修ができるなど研修環境を整備するとともに、三重大学等と連携して、診療能力の向上及び診療技術の習得に関する指導・研修体制を整備し、研修プログラムの内容の充実を図ることで積極的に臨床研修医等を受け入れ、優れた医師を確保・育成する。</p> <p>また、三重大学の連携大学院を効果的に運営すること等により、医師の専門性の向上を図るとともに、最先端の医療技術・知識の取得のため、各種学会や研修会、講習会等へ参加できるように支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シミュレーターを使い、臨床研修医のオリエンテーション研修等を実施するなど研修環境を整備した。 ・NPO法人卒後臨床研修評価機構の評価を受審するため、指導・研修体制の充実を図った結果、認定を取得した。 ・平成23年度臨床研修医26名であったが平成24年度は30名に増員し、医師の確保・育成を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・三重大学の連携大学院で病態制御医学講座病態解析内科学分野を担当し、平成23年度から引き続き1名の大学院生を受け入れている。 ・各種学会や研修会、講演会等への参加を支援し、最先端の医療技術・知識の取得を図った。 		<p>指導・研修体制の充実を図り、卒後臨床研修評価機構の認定を取得するなど、研修環境の整備を客観的にも行うことができ、医師の増員にもつながった。</p> <p>研修医の育成教育には、指導医の育成も不可欠である。三重県への医師の定着を促進するという中期計画達成のため、引き続き「卒後臨床研修プログラム」の内容の充実に期待したい。</p>

中期計画			年度計画 評価項目		業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント																
						自己 評価	評価 結果																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H22年度実績</th> <th>H28年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初期及び後期研修医数（人）</td> <td>30</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table>			指 標	H22年度実績	H28年度目標	初期及び後期研修医数（人）	30	32	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H24年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初期及び後期研修医数（人）</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>		指 標	H24年度目標	初期及び後期研修医数（人）	30	主な参加学会、研修会等 ・各科学会総会 ・各科学術集会・講演会 延べ参加人数 = 407名 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H24年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初期及び後期研修医数（人）</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>		指 標	H24年度実績	初期及び後期研修医数（人）	30			
指 標	H22年度実績	H28年度目標																					
初期及び後期研修医数（人）	30	32																					
指 標	H24年度目標																						
初期及び後期研修医数（人）	30																						
指 標	H24年度実績																						
初期及び後期研修医数（人）	30																						

大項目 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第2-4-(2) 看護師の確保・育成 看護師の確保・定着を図り、質の高い看護が継続的に提供できるよう研修の充実を図ること。
------	--

評価項目 2.1 看護師の確保・育成

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																						
		自己評価	評価結果	コメント																						
<p>(2) 看護師の確保・育成 「臨床研修センター」の設置や、新人看護師の卒後臨床研修システムの効果的な運用を行うことにより研修環境を整えるなど、専門知識・技術の向上を図ることができる魅力のある働きやすい職場環境の整備に取り組み、看護師の確保・定着に努める。</p>	<p>評価項目 2.1 (2) 看護師の確保・育成 「臨床研修センター」において新人看護師の卒後臨床研修システムを効果的に運用するとともに、魅力のある働きやすい職場環境としての控室の確保や時間外縮減対策の推進等、看護師の確保・定着に努める。</p>	<p>【看護師の育成・定着】 ・新人看護師の卒後臨床研修システムを効果的に運用し、育成に努めた。 ・職場環境を改善していくため、病院の増改築（周産母子センター、内視鏡センター）に伴い休憩室（5室）を確保した。 ・ワークライフバランス推進活動を通じ時間外縮減に取り組んでいる。 ・病棟看護師の勤務形態についても、変則三交代勤務の試行も行い、働きやすい職場環境づくりに努めている。</p> <p>【看護師の確保】 ・地域の看護学校から実習生を積極的に受け入れ、将来の看護師確保に繋げている。 ・看護師確保ため、修学資金の貸与金額を増額（5万円/月 7万円/月）した。 ・院外就職ガイダンスへの出展だけでなく、県内看護大学、看護師養成校への訪問、近隣高校への訪問、資料送付を行っている。</p>			<p>休憩室の確保、変則三交代勤務の試行、修学資金貸与額の引き上げ等を行ったことは評価できる。 職員アンケートでは、病棟看護師は全職種平均と同程度の満足度を示しているが、病棟以外の看護師は、各分野で全体と比較して低い満足度であり、特に職場環境に関する満足度が低かった。引き続き、高い定着率を維持するため、さらなる改善に期待したい。 看護実習生の指導を充実するため、引き続き実習指導者の養成に努め、中期計画では32名の実習指導者の養成を定めているが、それ以上の成果を目指すよう期待したい。また、実習生にこの病院に将来就職したいという希望を持ってもらうためにも、看護スタッフが生き生きと仕事をしている姿を見せることは重要であり、そのためには、医療従事者のアメニティが充実することを期待する。</p>																					
<table border="1"> <tr> <th>指標</th> <th>H22年度実績</th> <th>H28年度目標</th> </tr> <tr> <td>看護師定着率 (%)</td> <td>91.6</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>看護実習受入人数 (人)</td> <td>4,223</td> <td>4,000</td> </tr> </table>	指標	H22年度実績	H28年度目標	看護師定着率 (%)	91.6	92	看護実習受入人数 (人)	4,223	4,000	<table border="1"> <tr> <th>指標</th> <th>H24年度目標</th> </tr> <tr> <td>看護師定着率 (%)</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>看護実習受入人数 (人)</td> <td>4,000</td> </tr> </table>	指標	H24年度目標	看護師定着率 (%)	92	看護実習受入人数 (人)	4,000	<table border="1"> <tr> <th>指標</th> <th>H24年度実績</th> </tr> <tr> <td>看護師定着率 (%)</td> <td>92.2</td> </tr> <tr> <td>看護実習受入人数 (人)</td> <td>4,037</td> </tr> </table>	指標	H24年度実績	看護師定着率 (%)	92.2	看護実習受入人数 (人)	4,037			
指標	H22年度実績	H28年度目標																								
看護師定着率 (%)	91.6	92																								
看護実習受入人数 (人)	4,223	4,000																								
指標	H24年度目標																									
看護師定着率 (%)	92																									
看護実習受入人数 (人)	4,000																									
指標	H24年度実績																									
看護師定着率 (%)	92.2																									
看護実習受入人数 (人)	4,037																									

大項目 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期 目標	第2-4-(3) コメディカル(医療技術職)の専門性の向上 薬剤師、放射線技師、検査技師等の医療技術職について、専門性の向上を図るため、研修の充実を図ること。
----------	--

評価項目 2.2 コメディカル(医療技術職)の専門性の向上

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容/法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価																
			自己 評価	評価 結果 コメント															
<p>(3) コメディカル(医療技術職)の専門性の向上</p> <p>コメディカル職員の専門性の向上を図るため、病院の機能や職員の能力・経験等を踏まえ、県機関、学会等が実施する外部研修も活用するなど、研修を効果的に実施する。</p>	<p>評価項目 2.2</p> <p>(3) コメディカル(医療技術職)の専門性の向上</p> <p>「臨床研修センター」において、病院の機能や職員の能力・経験等を踏まえ、診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術職員(コメディカル)の専門性の向上を図るため、県機関、学会等が実施する外部研修等への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成する。</p>	<p>・医療技術職員(コメディカル)の専門性向上のため、外部研修等への参加支援を行い、職員の知識・技術の向上を図った。</p> <p>○主な参加研修等</p> <p>【薬剤師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本医療薬学会年会 ・日本緩和医療学会学術大会 <p>【臨床検査技師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本医学検査学会 ・三重県臨床技師会 ・日本輸血・細胞治療学会 ・中部圏支部生理検査研究会 <p>【診療放射線技師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重県胸部画像CT研究会 ・三重県超音波研究会 ・日本診療放射線技師総合学術大会 <p>○コメディカル専門研修参加延べ人数(人)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23度</th> <th>H24度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>17</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>109</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>93</td> <td>146</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>219</td> <td>287</td> </tr> </tbody> </table>		H23度	H24度	薬剤師	17	13	臨床検査技師	109	128	診療放射線技師	93	146	計	219	287		<p>研修参加人数が大幅に増加している。高度で専門性のあるコメディカルが多数確保されている病院は、患者からの信頼性が高い病院ともいえることから、高度医療に対する知識・技術の向上にさらに努めていただきたい。</p>
	H23度	H24度																	
薬剤師	17	13																	
臨床検査技師	109	128																	
診療放射線技師	93	146																	
計	219	287																	

大項目 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第2-4-(4) 資格の取得への支援 専門医、認定看護師など職員の資格取得に向けた支援を行うこと。
------	--

評価項目 23 資格の取得への支援

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント
		自己評価	評価結果	
<p>(4) 資格の取得への支援</p> <p>研修体制の充実や専門医・認定医等の資格取得を支援するとともに、医師の専門性の向上を図る。また、認定看護師及びコメディカルの専門資格取得を支援するため、部分休業制度の導入など、資格を取得しやすい環境を整える。</p>	<p>評価項目 23</p> <p>(4) 資格の取得への支援</p> <p>研修規程の整備など、研修体制を充実するとともに、専門医・認定医等の資格取得を支援し、医師の専門性の向上を図る。</p> <p>また、看護師、医療技術職員（コメディカル）においても、認定看護師等の資格取得を支援し、医療職員の専門性の向上を図る。</p> <p>さらに、部分休業制度を導入し、認定看護師及び医療技術職員（コメディカル）が資格を取得しやすい環境を整える。</p>	<p>・臨床研修実施要綱など研修規程を整備し、研修体制を充実するとともに、専門医・認定医等の資格取得を支援した。</p> <p>・看護師、医療技術職員（コメディカル）の資格取得も支援することによって、医療職員の専門性の向上を図っている。</p> <p>・部分休業制度等を導入して、医療職員が資格を取得しやすい環境を整えた。</p> <p>○医師・コメディカルの資格取得状況</p> <p>【医師】</p> <p>・各科専門医・認定医資格の取得・更新</p> <p>【薬剤師】</p> <p>・認定実務実習指導薬剤師</p> <p>【臨床検査技師】</p> <p>・認定輸血検査技師</p> <p>【診療放射線技師】</p> <p>・検査マンモグラフィ撮影診療放射線技師</p> <p>・X線CT認定技師</p> <p>○認定看護師数（H25.3.31時点）</p>		<p>医師、看護師及び医療技術職員の資格取得などについて、中長期的に研修・講習に参加できる体制を確保していく努力を期待したい。</p>

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等				評価委員会の評価	
		平成23年度		平成24年度		自己 評価	評価 結果
		分野	人数	分野	人数		コメント
		救急看護	1	救急看護	1		
		皮膚・排泄ケア	2	皮膚・排泄ケア	2		
		集中ケア	1	集中ケア	1		
		がん性疼痛看護	1	がん性疼痛看護	1		
		感染管理	1	感染管理	1		
		摂食・嚥下 障害看護	1	摂食・嚥下 障害看護	1		
		小児救急看護	1	小児救急看護	1		
				新生児集中ケア	1		
		計	8	計	9		
		指 標		指 標			
		認定看護師数(人)	H22年度実績	H28年度目標	認定看護師数(人)	H24年度実績	
			6分野7人	10分野12人		8分野9人	
		指 標		指 標			
		認定看護師数(人)	H24年度目標		認定看護師数(人)		
			7分野9人				

大項目 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期 目標	第2 - 4 - (5) 医療従事者の育成への貢献 医学生、看護学生の実習を積極的に受け入れるなど、県内の医療従事者の育成に貢献すること。
----------	--

評価項目 2 4 医療従事者の育成への貢献

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント																				
		自己 評価	評価 結果																					
<p>(5) 医療従事者の育成への貢献</p> <p>県内医療従事者の育成を図るため、医学生、看護学生等の実習の受入体制を整備し、積極的に実習を受け入れる。そのため、必要となる指導者の養成等その受入体制を充実する。</p> <p>また、医療従事者を対象とした研修会等への講師派遣要請については積極的に対応していく。</p> <p>さらには、海外の学会への参加や海外からの研修生の受入れ等を通して、国際的な視野をもった医療従事者の育成を図る。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H22年度実績</th> <th>H28年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床研修指導医養成講習参加者数(人/各年度)</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>看護実習指導者養成数(人)</td> <td style="text-align: center;">22</td> <td style="text-align: center;">32</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H22年度実績	H28年度目標	臨床研修指導医養成講習参加者数(人/各年度)	3	3	看護実習指導者養成数(人)	22	32	<p>評価項目 2 4 (5) 医療従事者の育成への貢献</p> <p>県内医療従事者の育成を図るため、医学生、看護学生等の実習について、積極的に受け入れる。そのため、必要となる指導者の養成等その受入体制を充実する。</p> <p>また、医療従事者を対象とした研修会等への講師派遣要請については積極的に対応する。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H24年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床研修指導医養成講習参加者数(人/各年度)</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>看護実習指導者養成数(人)</td> <td style="text-align: center;">24</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H24年度目標	臨床研修指導医養成講習参加者数(人/各年度)	3	看護実習指導者養成数(人)	24	<p>・医学生、看護学生等の実習を受け入れ、県内医療従事者の育成を図った。</p> <p>医学実習生 112人 看護実習生 4,037人</p> <p>・実習受入体制を充実するため、必要となる指導者の養成を図った。平成24年度は年度目標通り、医師は3名、看護師は2名の指導者を養成した。</p> <p>・研修会等への講師派遣要請に、積極的に対応した。</p> <p>主な講師派遣要請例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重大学講師 ・三重県立看護大学講師 ・ユマニテク看護助産専門学校講師 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H24年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床研修指導医養成講習参加者数(人/各年度)</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>看護実習指導者養成数(人)</td> <td style="text-align: center;">24</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H24年度実績	臨床研修指導医養成講習参加者数(人/各年度)	3	看護実習指導者養成数(人)	24	<p>看護実習生の指導を充実するため、引き続き実習指導者の養成に努め、中期計画では32名の実習指導者の養成を定めているが、それ以上の成果を目指すよう期待したい。</p>
指 標	H22年度実績	H28年度目標																						
臨床研修指導医養成講習参加者数(人/各年度)	3	3																						
看護実習指導者養成数(人)	22	32																						
指 標	H24年度目標																							
臨床研修指導医養成講習参加者数(人/各年度)	3																							
看護実習指導者養成数(人)	24																							
指 標	H24年度実績																							
臨床研修指導医養成講習参加者数(人/各年度)	3																							
看護実習指導者養成数(人)	24																							

大項目 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期 目標	<p>第2 - 5 医療に関する調査及び研究</p> <p>提供する医療の質の向上や県内の医療水準の向上、新たな医療技術への貢献のため、調査及び研究に取り組むこと。</p>
----------	--

評価項目 2 5 医療に関する調査及び研究

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価	
			自己 評価	評価 結果 コメント
<p>5 医療に関する調査及び研究</p> <p>提供する医療の質の向上や県内の医療水準の向上、新たな医療技術に貢献するため、豊富な臨床事例をもとに、各種調査研究を積極的に推進する。</p> <p>また、各種学会等での研究論文の発表や高度・特殊医療の実績等、医療に関する研究に有用な情報を公表する。</p>	<p>評価項目 2 5</p> <p>5 医療に関する調査及び研究</p> <p>各種学会等での研究論文の発表や高度・特殊医療の実績等、医療に関する研究に有用な情報を公表するとともに、豊富な臨床事例をもとに、各種調査研究を積極的に推進する。</p> <p>また、電子カルテの入力情報に基づきデータを分析するなど、診療記録等医療情報の管理機能の充実を図る。</p> <p>さらに、集積、整理された院内診療データを臨床研修等にも活用する仕組みづくりの検討を開始する。</p>	<p>・各種学会等での研究論文の発表実績や、高度・特殊医療の診療実績等をホームページにおいて公表するとともに、各診療科の診療実績をまとめた「総合医療センター年報」も電子ベースにおいて公表している。</p> <p>・医事経営課（病歴管理室）において、診療記録等医療情報の質的・量的点検を実施し、2週間以内のサマリー() (= 退院時要約) 完成率を100%に近づけた。</p> <p>・D P Cデータを分析し、効果的な医療実施に向けた情報提供を行った。</p> <p>サマリーとは、入院から退院までの経過・治療内容を要約し、最終診断名と転帰が記載されたもの</p> <p>・院内の診療データを活用し、各診療科のカンファレンス、症例検討会等に積極的に活用するとともに、活用する仕組みづくりの検討を行った。</p>		

大項目 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

中期 目標	第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項
	医療サービスの一層の向上と経営基盤の強化を図るため、業務運営の改善及び効率化を推進すること。
	1 適切な運営体制の構築 医療環境の変化に柔軟かつ迅速に対応できるよう、運営体制を構築すること。

評価項目 2.6 適切な運営体制の構築

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価							
			自己 評価	評価 結果 コメント						
<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 適切な運営体制の構築</p> <p>理事長のリーダーシップのもと、全職員が目標に向けて取り組んでいくため、マネジメントツールとしてバランス・スコア・カード（BSC）を活用するとともに、各部門が専門性を発揮し、医療環境の変化に的確かつ迅速に対応できるよう副院長の役割分担を柔軟に行うなど効果的・効率的な運営体制を構築する。</p>	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p style="text-align: center;">評価項目 2.6</p> <p>1 適切な運営体制の構築</p> <p>地方独立行政法人として、理事長のリーダーシップのもと、全職員が目標に向けて取り組んでいくため、事務部門の強化、コメディカル（医業技術）部門の機能分担の明確化等、新たに再編した組織体制を円滑に運用するとともに、医療環境の変化や県民の医療需要の変化等に対応できるよう組織体制の一部を機動的に見直すなど、弾力的な組織づくりを進める。</p> <p>また、マネジメントツールとしてバランス・スコア・カード（BSC）を活用し、各部門が専門性を発揮しつつマネジメントサイクルを回していく仕組みを構築する。</p>	<p>・事務部門の機能強化を図るため、従前の「運営調整部」と「医療経営部」を統合し、「事務局」を設置し、総務人事系と企画経営系の2名の次長を配置した。</p> <p>また、経営企画課を設置し、重要なプロジェクトの進捗管理等を担うこととした。</p> <p>・コメディカル部門において各室を設置することによって、役割分担が明確化され、指示命令系統が明確になり、各室間の連携も効果的に行われるようになった。</p> <p>・内視鏡室の増改築に伴い、新施設稼働に合わせて、「内視鏡センター」組織を設置する等、弾力的に組織づくりを行った。</p> <p>・バランス・スコア・カード（BSC）の活用により、理事長等との対話を通じて、各部門が各々の目標を設定し、その達成を目指す仕組みが構築できた。</p> <p>○BSCによる対話実施数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">対話実施数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>部門レベル</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td>課・診療科レベル</td> <td style="text-align: center;">18</td> </tr> </tbody> </table>		対話実施数	部門レベル	8	課・診療科レベル	18	<div style="background-color: yellow; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>	<p>経営企画課を設置するなど、体制構築を図ったことは評価できる。</p> <p>今後は構築した体制が機能し、業務の質的向上につながることを期待したい。</p>
	対話実施数									
部門レベル	8									
課・診療科レベル	18									

大項目 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

中期 目標	第3-2 効果的・効率的な業務運営の実現
	医療環境の変化に応じて職員の配置や予算執行を弾力的に行うなど、効果的・効率的な業務運営を行うこと。

評価項目 2.7 効果的・効率的な業務運営の実現

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント
		自己 評価	評価 結果	
<p>2 効果的・効率的な業務運営の実現</p> <p>経営基盤を強化し、より一層医療サービスを向上させるため、医療ニーズの多様化・高度化、患者動向などの変化に対応できるよう必要となる職員配置や業務推進体制等について柔軟に対応していく。</p>	<p>評価項目 2.7</p> <p>2 効果的・効率的な業務運営の実現</p> <p>医療ニーズの多様化・高度化、患者動向などの変化に対応できるよう必要となる職員配置や業務推進体制等について柔軟に対応する。</p> <p>また、平成23年度に導入された医療情報システム、平成24年度から導入する人事給与システム、財務管理システムを最大限に活用して、効果的・効率的な業務運営を推進する。</p> <p>さらに、定型的な業務のうち委託が可能なものについては、費用対効果や将来性を考慮し、スリム化を目指し、アウトソーシングの導入を検討する。</p>	<p>・周産期母子センターの拡充にともない、小児・周産期医療を強化するため、平成25年度から配置看護師を6名、病棟棟師長を1名増加できるよう人員の確保に努めた。</p> <p>・紹介率向上を目指し、地域医療支援を強化するため、地域連携課において、平成25年度からMSW（メディカル・ソーシャル・ワーカー）を1名増員確保できるよう人員の確保を行った。</p> <p>・平成23年度に導入した医療情報システムに対する使用者の疑問点を解決していくとともに、他の関連システムとのつながりを精査する等、より効果的な活用を推進している。</p> <p>・平成24年度から導入された人事給与システム、財務管理システムをより効率的に運用するため、使用者ニーズに応えるよう改良を行い、業務運営の効率化を図った。</p> <p>・財務管理システムの活用により、法人単独での予算・決算管理が実施できるようになった。</p> <p>・定型的な業務のうち、経理業務等について、委託又は派遣での対応の可能性について検討している。</p>		<p>周産期母子センターの運営については、看護師の勤務内容を考慮すれば、施設基準を上回る看護体制（人員配置）が望まれることから、引き続き人員確保に努められることを期待したい。</p>

大項目 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

中期 目標	<p>第3 - 3 業務改善に継続して取り組む組織文化の醸成 すべての職員が病院の基本理念を共有し、継続して業務改善に取り組む組織文化を醸成すること。</p>
----------	---

評価項目 28, 29 業務改善に継続して取り組む組織文化の醸成

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価
		自己 評価	評価 結果	コメント
<p>3 業務改善に継続して取り組む組織文化の醸成 すべての職員が病院の基本理念を共有し、継続して業務改善に取り組むことができる組織文化の醸成を目指す。</p> <p>(1) 経営関係情報の周知 例月の収益分析データ等の経営関係情報について、わかりやすく職員に周知し、職員の経営参画意識を高めるとともに、DPC（診断群分類包括評価）データの分析情報を提供し収益改善に資する。</p>	<p>3 業務改善に継続して取り組む組織文化の醸成 すべての職員が病院の基本理念を共有し、継続して業務改善に取り組むことができる組織文化の醸成を目指す。</p> <p style="text-align: center;">評価項目 28</p> <p>(1) 経営関係情報の周知 毎月開催する「経営会議」において、経営分析資料として、診療科別、行為別収益分析データ等の経営関係情報を、わかりやすく職員に周知することによって、更なる経営改善に対する職員の意識向上を図る。</p>	<p>・病院の基本理念は、病院各所に掲げられ、院内職員に周知され、共有されている。 ・部門長のBSCにおける業務改善目標を浸透させるだけでなく、TQM活動等を通じて、不断の業務改善を目指していくべき組織文化の醸成を図っている。</p> <p>・毎月開催する「経営会議」において、診療科別収益等の経営データに基づき、経営状況を分析・報告している。 ・また、その資料及び経営会議の議論の概要を院内掲示板を通じて、職員全員に周知している。 ・日々の入院患者数等を、院内掲示板に常時更新掲示することによって、職員の病院経営に対する意識向上を図っている。</p>		<p>日々の患者数などきめ細かなデータを取りまとめた経営データを各部門の長が出席する経営会議で報告し、職員との情報共有を図っている。</p>

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価							
		自己 評価	評価 結果	コメント							
<p>(2) 改善活動の取組</p> <p>医療の質の向上に向け効果的・効率的な業務運営を推進するため、TQM等の継続的な改善活動に取り組む</p>	<p>評価項目 29</p> <p>(2) 改善活動の取組</p> <p>医療の質の向上に向けた経営改善ツールとして、TQMの手法を活用する。QCサークルを多数募り、その活動を支援して、継続的な改善活動に取り組む。</p>	<p>・TQMの手法を医療の質の向上に向けた経営改善ツールとして活用している。</p> <p>・平成24年度は「12」のTQMサークルが、各々のテーマに沿って改善活動に取り組み、TQM発表大会において、その成果を披露した。</p> <p>・TQMサークルの活動においては、TQM推進委員会メンバーが、毎月相談会（計7回）を実施し、各サークルの改善活動の進捗をサポートしている。</p> <p>○TQM発表大会 【日時】平成25年2月16日 【場所】当院 7階講堂 【テーマ】「初心」 【発表者】院内12サークル 【参加者】院外 8名 院内 84名</p> <p>○TQMサークル数</p> <table border="1"> <tr> <td>平成22年度</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>12</td> </tr> </table>	平成22年度	15	平成23年度	10	平成24年度	12			<p>TQMの手法を活用することにより、職員のモチベーションがさらに上がることを期待する。</p> <p>引き続き経営改善に取り組まれない。</p>
平成22年度	15										
平成23年度	10										
平成24年度	12										

大項目 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

中期 目標	<p>第3 - 4 就労環境の向上</p> <p>職員が働きやすく、また、働きがいのある病院となるよう、就労環境の向上を図ること。</p>
----------	---

評価項目 30 就労環境の向上

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価							
		自己 評価	評価 結果	コメント							
<p>4 就労環境の向上</p> <p>ワークライフバランスに配慮した、働きやすく、働きがいのある職場環境の実現に向け、職員満足度調査を定期的の実施し、職員の意見、要望をよりの確に把握して、就労環境の向上を図る。</p> <p>また、院内保育所の維持・サービスの向上や、更衣室、休憩室の充実、さらには駐車場不足の解消など、働きやすい環境づくりを進める。</p>	<p>評価項目 30</p> <p>4 就労環境の向上</p> <p>ワークライフバランスに配慮した勤務環境、職場環境の整備に努めるとともに、病院全体での職員満足度調査を年1回実施し、そこでの職員の意見、要望をよりの確に把握、分析するとともに、それに基づいた就労環境の向上策を検討する。また、適切な人員配置により業務負担を効率化し、時間外勤務の縮減を目指す。</p>	<p>○職員アンケート調査(回答者数585名)</p> <p>・職員アンケート調査を平成24年12月に実施し、その結果、職員満足度は68.1%と、前回調査結果(65.0%)よりも高い結果が得られた。</p> <p>・満足度の高い項目は、「自身の配属、研修参加機会の公平さ」で、低い項目は、「仕事の内容に見合った給与、昇任昇格の公正さ」であった。</p> <p>・平成25年度は、職員アンケート調査の結果を踏まえて、勤務条件等の検討、自由記述で意見の多かった項目等について改善策を検討していく。</p> <p>○職場労働安全衛生委員会</p> <p>・職場労働安全衛生委員会が年1回実施する職場巡視の結果を受けて、職場環境の改善を実施している。</p> <p>○時間外勤務削減</p> <p>・前年度に比べ若干ではあるが減少する結果となった。引き続き業務見直し等によりさらに時間外削減に取り組む必要がある。</p> <p>○職員一人当たり時間外勤務の状況(時間)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>平成22年度</td> <td>249.02</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>250.09</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>237.64</td> </tr> </table>	平成22年度	249.02	平成23年度	250.09	平成24年度	237.64			<p>職員アンケートの結果では「職員満足度」が上昇しており、全体的には改善傾向にあるとみられるが、自由記述では、仕事、病院運営、勤務条件、職場環境(特にハード面)に対する不満もあり、少しでも不満解消に努めていただきたい。</p> <p>経営改善につながるような意見も多数挙げられていると見受けられる。貴重な意見としてさらなる改善に活かして欲しい。</p> <p>なお、医師の回答率が低いので、医師に対して病院にもっと関心を持ってもらうよう努められたい。</p>
平成22年度	249.02										
平成23年度	250.09										
平成24年度	237.64										

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価															
		自己 評価	評価 結果	コメント															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H22年度実績</th> <th>H28年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員満足度（%）</td> <td>65.0</td> <td>70.0</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H22年度実績	H28年度目標	職員満足度（%）	65.0	70.0	<p>さらに、職員駐車場の慢性的不足等の課題に対し、立体駐車場の整備等の解消策を具体的に検討する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H24年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員満足度（%）</td> <td>66.0</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H24年度目標	職員満足度（%）	66.0	<p>・職員駐車場の慢性的不足等の課題に対しては、駐車場の確保に向け、引き続き具体的な解決策を検討している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H24年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員満足度（%）</td> <td>68.1</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H24年度実績	職員満足度（%）	68.1			
指 標	H22年度実績	H28年度目標																	
職員満足度（%）	65.0	70.0																	
指 標	H24年度目標																		
職員満足度（%）	66.0																		
指 標	H24年度実績																		
職員満足度（%）	68.1																		

大項目 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

中期 目標	<p>第3 - 5 人材の確保・育成を支えるしくみの整備 人材の確保・育成を支えるしくみを整備し、組織力の向上に向けて、職員一人ひとりが、その意欲と能力を最大限発揮できる環境づくりを行うこと。</p>
----------	---

評価項目 3 1 人材育成を支える仕組みの整備

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価	
			自己 評価	評価 結果 コメント
<p>5 人材の確保、育成を支える仕組みの整備 職員の意欲向上と人材育成に資するとともに、より適切な人事管理に活用できるよう業績や能力を評価する仕組みについて検討する。</p>	<p>評価項目 3 1 5 人材育成を支える仕組みの整備 職員の意欲向上と人材育成に資するとともに、より適切な人事管理に活用できるよう、業績や能力を評価する仕組みについての検討を開始する。</p>	<p>・部門長等の基本的な人事評価は、バランス・スコア・カード（B S C）を基にして実施している。 ・人事評価制度の構築に向けて、特定独立行政法人を中心にして、先行独立行政法人の事例を調査し、そのメリット・デメリットを踏まえて検討している。 ・さらに、平成25年度からは、人事評価を給与に反映する仕組みも併せて検討していく計画としている。</p>		

大項目 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

中期 目標	<p>第3 - 6 事務部門の専門性の向上と効率化</p> <p>病院経営や医療事務に精通した職員を確保、育成することにより、事務部門の専門性の向上を図ること。また、業務の継続的な見直しを行い、事務部門の効率化を図ること。</p>
----------	---

評価項目 3 2 事務部門の専門性の向上と効率化

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント
		自己 評価	評価 結果	
<p>6 事務部門の専門性の向上と効率化</p> <p>病院経営を支える事務部門としての専門性の向上を図るため、計画的に職員を採用するとともに、診療報酬制度や財務経営分析等に関する研修を実施、充実し、病院経営や医療事務に精通した職員を育成、確保する。</p> <p>また、業務の継続的な見直しや改善を行い、事務部門における業務運営の効率化を図る。</p>	<p>評価項目 3 2</p> <p>6 事務部門の専門性の向上と効率化</p> <p>地方独立行政法人化に合わせて、事務局の組織体制を再編して効果的・効率的に運用する。</p> <p>新たに「経営企画課」を設置して、事務部門の専門性の向上を図るとともに、法人化後の課題を整理して、今後の対応策を検討する。</p> <p>また、診療報酬制度や病院経営に係る財務経営分析等に関する研修を実施、充実するとともに、病院経営や医療事務に精通した職員の育成計画や、プロパー職員の確保計画の策定を検討する。</p> <p>さらに、法人化に伴って導入する「人事給与システム」「財務管理システム」</p>	<p>・地方独立行政法人化に際し、法人化前の旧運営調整部と旧医療経営部を統合して、事務局を設置した。</p> <p>・事務局が、診療報酬、人材配置、施設整備等を総合的に管理することにより、病院経営を効果的・効率的に運営できる組織に再編した。</p> <p>・新設された「経営企画課」が、法人化後の病院経営における課題を整理し、「地域医療支援病院への取組」、「新周産期母子医療センターへの移行管理」等、重要なプロジェクト等においては、主導的に進捗管理している。</p> <p>・病院経営に関する経営分析結果を、代表者会議（毎月）、看護師長会（毎月）等において、分かりやすく解説している。</p> <p>・現在、大部分を県派遣職員で占める事務職員については、プロパー化計画（＝H24年度1名、H25年度2名、H26年度～年3名のプロパー採用計画）を策定し、それに基づき人材確保に努めている。</p> <p>・また、医療事務に精通した職員を「医事経営課長」へ短期雇用することにより、プロパー職員の専門性の向上を図っている。</p> <p>・法人化に伴い、平成24年度から導入した「人事給与システム」「財務管理システム」</p>		<p>地域医療支援病院への取組が評価できる。</p> <p>大部分の事務職員が県からの派遣職員であり、2～3年で異動するとしても、病院事務、病院経営について精通させるよう努められたい。</p>

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価	
			自己 評価	評価 結果 コメント
	事給与システム」、「財務管理システム」を円滑に運用することによって、業務の効率化を図る。	した「人事給与システム」、「財務管理システム」を運用することにより、法人単独での人事給与管理、予算・決算管理を実施することができた。		

大項目 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

中期 目標	<p>第3 - 7 収入の確保と費用の節減</p> <p>病床利用率の向上、診療報酬制度への適切な対応、診療報酬の請求漏れ防止や未収金対策の徹底などにより収入の確保を図ること。また、薬品や診療材料の在庫管理の徹底や、多様な契約手法の検討などにより費用の節減に取り組むこと。</p>
----------	--

評価項目 33, 34 収入の確保と費用の節減

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価																			
			自己 評価	評価 結果 コメント																		
<p>7 収入の確保と費用の節減</p> <p>(1) 収入の確保</p> <p>各部門間の連携を円滑に進め、7対1看護基準体制を維持しながら、DPC（診断群分類包括評価）で設定されている平均在院日数を目標に稼働率の向上に努めるなど、適正で効果的な病床管理を行う。さらに、病棟看護師数の充足状況に応じて稼働病床数を増床し、診療体制を充実させることにより収入の確保に努める。</p> <p>また、診療報酬の査定率の減少及び改定時の的確な対応、未収金発生抑止策の強化等に取り組む。</p>	<p>7 収入の確保と費用の節減</p> <p>評価項目 33</p> <p>(1) 収入の確保</p> <p>各部門間の連携を円滑に進め、7対1看護基準体制を維持する。</p> <p>病床管理委員会を活用することにより、適正で効果的な病床管理を行い、かつ各病棟の稼働率の向上に努める。</p> <p>また、「医療経営委員会」の定期的開催と効果的運用により、診療報酬の査定率の減少を目指すとともに、未収金発生の未然防止を徹底するため、その抑止策の強化を図る。</p>	<p>・7対1看護基準体制を維持するため、看護師の勤務状況の把握及び看護必要度データをまとめ、看護体制を管理するよう努めている。</p> <p>・周産期母子センターの増改築工事の際に、「病床管理委員会」を開催することによって、関係者との調整を経て、工事中にも高い稼働率を確保できることができた。</p> <p>・それらも含めて、年間トータルの病床稼働率は、年度目標を上回ることができた。</p> <p>・診療報酬の査定率減少を目指して「医療経営委員会」を毎月定期的に開催し、査定率や減点等の情報共有を図ることにより、診療報酬の査定率減少を図っている。</p> <p>○診療報酬査定の変移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>減点率(%)</td> <td>0.19</td> <td>0.16</td> </tr> <tr> <td>減点額(千円)</td> <td>13,333</td> <td>12,208</td> </tr> <tr> <td>高額減点件数(3千点以上)</td> <td>75</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>返戻件数(件)</td> <td>479</td> <td>313</td> </tr> <tr> <td>過誤件数(件)</td> <td>379</td> <td>421</td> </tr> </tbody> </table>		H23年度	H24年度	減点率(%)	0.19	0.16	減点額(千円)	13,333	12,208	高額減点件数(3千点以上)	75	51	返戻件数(件)	479	313	過誤件数(件)	379	421		<p>増収要因は、入院、外来の患者数の増加ではなく、患者1人あたりの診療単価の増加によるところが大きいものと見受けられる。</p> <p>診療単価については、今後の保険点数改定の影響を大きく受けるため、来年度は患者数の増加による増収を期待する。</p>
	H23年度	H24年度																				
減点率(%)	0.19	0.16																				
減点額(千円)	13,333	12,208																				
高額減点件数(3千点以上)	75	51																				
返戻件数(件)	479	313																				
過誤件数(件)	379	421																				

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント
		自己 評価	評価 結果	
	<p>さらに、発生した未収金については、これまでの法的対応策を継続的に実施するとともに、実効性のある回収手段についての検討を行う。</p>	<p>・未収金については、未然抑止策と発生した未収金の回収策の両面をもって対処している。</p> <p>○未収金未然防止策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院時に概算費用の提示や各種医療福祉制度等を説明している。 ・救急搬送患者に対する身元確認、保険確認等を早期に行い、医療保険制度の活用を促し紹介等を行っている。 ・クレジットカード決済を導入することにより、支払方法の拡充、高額支払の円滑化を図っている。 <p>○未収金回収策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に督促状を発送し、早期に未収金回収に着手している。 ・未納者が受診した際には、面談による納付催告を実施している。 ・回収困難な未収金について、裁判所への支払督促の申立てをしている。 		

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																																			
		自己 評価	評価 結果	コメント																																			
		<p>○クレジットカード利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>9,061</td> <td>11,501</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>203,136千円</td> <td>220,756千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○未収金発生状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H23年度</th> <th colspan="2">H24年度</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年度分</td> <td>430</td> <td>87,303</td> <td>359</td> <td>64,697</td> </tr> <tr> <td>現年度分</td> <td>263</td> <td>62,176</td> <td>247</td> <td>60,910</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>693</td> <td>149,479</td> <td>606</td> <td>125,607</td> </tr> </tbody> </table> <p>各年度、翌年3月31日現在</p>			平成23年度	平成24年度	件数	9,061	11,501	金額	203,136千円	220,756千円		H23年度		H24年度		件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	過年度分	430	87,303	359	64,697	現年度分	263	62,176	247	60,910	合計	693	149,479	606	125,607			
	平成23年度	平成24年度																																					
件数	9,061	11,501																																					
金額	203,136千円	220,756千円																																					
	H23年度		H24年度																																				
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)																																			
過年度分	430	87,303	359	64,697																																			
現年度分	263	62,176	247	60,910																																			
合計	693	149,479	606	125,607																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H22年度実績</th> <th>H28年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床稼働率(%)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 実働病床数ベース</td> <td>88.8</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td> 許可病床数ベース</td> <td>66.1</td> <td>72.6</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H22年度実績	H28年度目標	病床稼働率(%)			実働病床数ベース	88.8	90	許可病床数ベース	66.1	72.6	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H24年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床稼働率(%)</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 実働病床数ベース</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td> 許可病床数ベース</td> <td>65.2</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H24年度目標	病床稼働率(%)		実働病床数ベース	86	許可病床数ベース	65.2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H24年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床稼働率(%)</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 実働病床数ベース</td> <td>87.2</td> </tr> <tr> <td> 許可病床数ベース</td> <td>66.1</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H24年度実績	病床稼働率(%)		実働病床数ベース	87.2	許可病床数ベース	66.1									
指 標	H22年度実績	H28年度目標																																					
病床稼働率(%)																																							
実働病床数ベース	88.8	90																																					
許可病床数ベース	66.1	72.6																																					
指 標	H24年度目標																																						
病床稼働率(%)																																							
実働病床数ベース	86																																						
許可病床数ベース	65.2																																						
指 標	H24年度実績																																						
病床稼働率(%)																																							
実働病床数ベース	87.2																																						
許可病床数ベース	66.1																																						

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価												
		自己評価	評価結果	コメント												
<p>(2) 費用の節減</p> <p>医薬品や診療材料の適正な在庫管理や後発医薬品の採用及び使用促進、多様な調達手法の導入など材料費のコスト管理を行いながら、その抑制に努める。</p> <p>また、職員全員のコスト意識や省エネ意識を向上させ、経常経費の節減を図っていく。</p>	<p>評価項目 34</p> <p>(2) 費用の節減</p> <p>医薬品や診療材料の適正な在庫管理や、地方独立行政法人のメリットを活かした多様な契約方法の導入により、材料費の節減を図る。</p> <p>また、後発医薬品の効率的な導入を推進することによって、材料費の節減を図る。</p>	<p>・診療材料については、平成23年度中に導入した新物品システムの利用効率化と中央倉庫の整備により、適正管理に努めている。</p> <p>・購入に際しては、低価な製品や経費節減に繋がる新製品などの情報を各業者から収集し、デモ等を実施し購入を検討している。</p> <p>・平成25年度からSPD（物品物流管理システム）の導入を検討する。</p> <p>・委託業務において、契約期間を長期化し、業者が機器等の資源をより有効に活用できるようにすることによって、入札（契約）額の低下を図った。</p> <p>また、入札制度について、より安価で契約できるよう総合評価方式から一般競争入札に切り替えた。</p> <p>・隔月開催での薬事審議会等での後発医薬品導入のはたらきかけにより、適応症等に配慮しつつ、抗がん剤など高額商品を中心に後発医薬品への変更を推進し、後発医薬品使用率の年度目標を上回ることができた。</p>	<p>○薬品比率・診療材料比率推移（％）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品比率</td> <td>16.3</td> <td>15.5</td> </tr> <tr> <td>診療材料比率</td> <td>10.7</td> <td>10.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>27.0</td> <td>25.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>両比率とも、医業収益に対する割合</p>		H23年度	H24年度	薬品比率	16.3	15.5	診療材料比率	10.7	10.2	計	27.0	25.7	<p>薬品比率だけでなく、評価項目 36（財務内容の改善に関する事項（予算、収支計画、資金計画））の各種比率中の人件費比率の低下も合わせて、費用の節減は進んでいるように見受けられる。</p> <p>後発医薬品使用率については、さらなる取組に期待する。</p> <p>委託業務については、費用対効果について留意し、業務の質を確保できるよう努めていきたい。</p>
	H23年度	H24年度														
薬品比率	16.3	15.5														
診療材料比率	10.7	10.2														
計	27.0	25.7														

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価															
		自己 評価	評価 結果	コメント															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H22年度実績</th> <th>H28年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品使用率 (%)</td> <td>6.7</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H22年度実績	H28年度目標	後発医薬品使用率 (%)	6.7	10	<p>さらに、職員全員にコスト意識や省エネ意識を向上させ、経常経費の節減を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H24年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品使用率 (%)</td> <td>7.4</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H24年度目標	後発医薬品使用率 (%)	7.4	<p>・省エネ対策を平成24年度から事務局職員で実行しており、その活動を全部署に周知することによって、意識の向上を図っている。</p> <p>・平成25年度からは、これらの活動を病院全体へ広げ、経常経費の節減につなげていきたい。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H24年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品使用率 (%)</td> <td>7.5</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H24年度実績	後発医薬品使用率 (%)	7.5			
指 標	H22年度実績	H28年度目標																	
後発医薬品使用率 (%)	6.7	10																	
指 標	H24年度目標																		
後発医薬品使用率 (%)	7.4																		
指 標	H24年度実績																		
後発医薬品使用率 (%)	7.5																		

大項目 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

中期 目標	<p>第3 - 8 積極的な情報発信</p> <p>県民の医療に関する意識の向上を図るとともに、運営の透明性を一層確保するため、法人の取組や運営状況などを積極的に情報発信すること。</p>
----------	--

評価項目 3 5 積極的な情報発信

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価	
			自己 評価	評価 結果 コメント
<p>8 積極的な情報発信</p> <p>定期的な広報誌の発行や、ホームページ等の多様な広報手段の活用により、病院の診療実績や決算状況等の経営情報、病院が有する保険医療情報の情報発信に積極的に取り組む。</p>	<p>8 評価項目 3 5 積極的な情報発信</p> <p>広報誌の定期発行や、ホームページ等の多様な広報手段の活用により、病院の診療情報や運営状況、病院が有する保健医療情報の情報発信に積極的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌「医療センターニュース」の定期発行や、臨時の号外の発行により、病院の診療情報だけでなく、「周産期母子センター」「内視鏡センター」の拡充等の情報提供を行っている。 ・ ホームページにより、「がん診療」や「災害拠点」等の病院の特長について、積極的な情報発信を図っている。 ・ 特に、周産期母子センター、内視鏡室の拡充の際には、施設見学会、完成披露式等を積極的に行い、地域の医療機関、関係団体等へ積極的に情報を発信した。 		<p>広報活動は積極的に行われている。一方的な情報発信にとどまらず、地域の関係者等を招いて施設見学会を行うなど、地域との交流にも努めている。さらに、総合医療センターの取組を積極的・効果的に発信していただきたい。</p>

大項目 第3 財務内容の改善に関する事項

中期 目標	<p>第4 財務内容の改善に関する事項</p> <p>医療環境の変化に対応して、良質で満足度の高い医療を安定的、継続的に提供できる経営基盤を確立すること。</p> <p>そのため、業務運営の改善及び効率化などを進め、中期目標の期間に経常収支比率100%以上を達成し、維持すること。</p> <p>なお、地方独立行政法人法に基づき、政策医療の提供に必要な経費については、引き続き県が負担する。</p>
----------	---

評価項目 36 予算、収支計画、資金計画

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価													
			自己 評価	評価 結果 コメント												
<p>第4 財務内容の改善に関する事項</p> <p>良質で満足度の高い医療を安定的、継続的に提供するとともに、業務運営の改善、効率化を図り、中期目標期間内に経常収支比率100%以上を達成し、維持する。</p> <p>ただし、地方独立行政法人法に基づき、政策医療の提供に必要な経費については、引き続き県から負担を受ける。</p>	<p>第3 財務内容の改善に関する事項</p> <p>中期目標期間内に経常収支比率100%以上を達成する目標をもって、平成24年度においても、良質で満足度の高い医療を安定的、継続的に提供するとともに、業務運営の改善、効率化を図る。</p> <p>ただし、地方独立行政法人法に基づき、政策医療の提供に必要な経費については、引き続き県から負担を受ける。</p>	<p>・経常収支比率が100.4%と、年度計画(95.5%)を大幅に上回り、法人化初年度から経常収支100%以上を達成することができた。</p> <p>・入院収益、外来収益の増加と費用の節減を主要因として、人件費比率、材料費比率も改善した。</p> <p>○各種比率の推移 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>98.8</td> <td>100.4</td> </tr> <tr> <td>人件費比率</td> <td>57.6</td> <td>53.0</td> </tr> <tr> <td>材料費比率</td> <td>27.6</td> <td>26.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>人件費比率、材料費比率とも、 医業収益に対する割合</p>		H23年度	H24年度	経常収支比率	98.8	100.4	人件費比率	57.6	53.0	材料費比率	27.6	26.4		
	H23年度	H24年度														
経常収支比率	98.8	100.4														
人件費比率	57.6	53.0														
材料費比率	27.6	26.4														

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																																																																																																																																																																							
				自己 評価	評価 結果 コメント																																																																																																																																																																						
<p>1 予算（平成24年度～28年度） （単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>58,559</td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>50,588</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>45,336</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>5,252</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>1,178</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>984</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>194</td> </tr> <tr> <td> 臨時収益</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>6,793</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>2,271</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収入</td> <td>2,619</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>1,903</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>55,287</td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>44,767</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>44,767</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>24,243</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>12,996</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>7,326</td> </tr> <tr> <td> その他医業費用</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 営業外費用</td> <td>2,205</td> </tr> <tr> <td> 臨時損失</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 資本支出</td> <td>8,315</td> </tr> <tr> <td> 建設改良費</td> <td>2,897</td> </tr> <tr> <td> 地方債償還金</td> <td>5,060</td> </tr> <tr> <td> その他資本支出</td> <td>358</td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額	収入	58,559	営業収益	50,588	医業収益	45,336	運営費負担金収益	5,252	その他営業収益	0	営業外収益	1,178	運営費負担金収益	984	その他営業外収益	194	臨時収益	0	資本収入	6,793	長期借入金	2,271	運営費負担金収入	2,619	その他資本収入	1,903	支出	55,287	営業費用	44,767	医業費用	44,767	給与費	24,243	材料費	12,996	経費	7,326	その他医業費用	202	一般管理費	0	営業外費用	2,205	臨時損失	0	資本支出	8,315	建設改良費	2,897	地方債償還金	5,060	その他資本支出	358	<p>評価項目 36 1 予算（平成24年度） （単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>13,074</td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>9,422</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>8,386</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>1,036</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>221</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td> 臨時収益</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>3,392</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>1,031</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収入</td> <td>458</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>1,903</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>11,416</td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>8,627</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>8,627</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>4,761</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>2,358</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>1,468</td> </tr> <tr> <td> その他医業費用</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 営業外費用</td> <td>476</td> </tr> <tr> <td> 臨時損失</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 資本支出</td> <td>2,313</td> </tr> <tr> <td> 建設改良費</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td> 地方債償還金</td> <td>941</td> </tr> <tr> <td> その他資本支出</td> <td>72</td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額	収入	13,074	営業収益	9,422	医業収益	8,386	運営費負担金収益	1,036	その他営業収益	0	営業外収益	260	運営費負担金収益	221	その他営業外収益	39	臨時収益	0	資本収入	3,392	長期借入金	1,031	運営費負担金収入	458	その他資本収入	1,903	支出	11,416	営業費用	8,627	医業費用	8,627	給与費	4,761	材料費	2,358	経費	1,468	その他医業費用	40	一般管理費	0	営業外費用	476	臨時損失	0	資本支出	2,313	建設改良費	1,300	地方債償還金	941	その他資本支出	72	<p>1 決算（平成24年度） （単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>11,766</td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>10,037</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>8,955</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>1,038</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>262</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>216</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td> 臨時収益</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>1,467</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>985</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収入</td> <td>458</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>11,105</td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>8,559</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>8,234</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>4,293</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>2,420</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>1,483</td> </tr> <tr> <td> その他医業費用</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>325</td> </tr> <tr> <td> 営業外費用</td> <td>386</td> </tr> <tr> <td> 臨時損失</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td> 資本支出</td> <td>2,153</td> </tr> <tr> <td> 建設改良費</td> <td>1,212</td> </tr> <tr> <td> 地方債償還金</td> <td>941</td> </tr> <tr> <td> その他資本支出</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額	収入	11,766	営業収益	10,037	医業収益	8,955	運営費負担金収益	1,038	その他営業収益	44	営業外収益	262	運営費負担金収益	216	その他営業外収益	46	臨時収益	0	資本収入	1,467	長期借入金	985	運営費負担金収入	458	その他資本収入	24	支出	11,105	営業費用	8,559	医業費用	8,234	給与費	4,293	材料費	2,420	経費	1,483	その他医業費用	38	一般管理費	325	営業外費用	386	臨時損失	7	資本支出	2,153	建設改良費	1,212	地方債償還金	941	その他資本支出	0	<p>収益の増加と費用の節減により、経常収支比率が100%を超えたことは評価できる。 何について計画を著しく上回って実施した結果、100%を超えたのか。医業収益の増において、診療報酬改定の影響分はどの程度あるのか。経費の節減についてどのような取組をしたのかなど、多面的に分析をする必要がある。</p>
区分	金額																																																																																																																																																																										
収入	58,559																																																																																																																																																																										
営業収益	50,588																																																																																																																																																																										
医業収益	45,336																																																																																																																																																																										
運営費負担金収益	5,252																																																																																																																																																																										
その他営業収益	0																																																																																																																																																																										
営業外収益	1,178																																																																																																																																																																										
運営費負担金収益	984																																																																																																																																																																										
その他営業外収益	194																																																																																																																																																																										
臨時収益	0																																																																																																																																																																										
資本収入	6,793																																																																																																																																																																										
長期借入金	2,271																																																																																																																																																																										
運営費負担金収入	2,619																																																																																																																																																																										
その他資本収入	1,903																																																																																																																																																																										
支出	55,287																																																																																																																																																																										
営業費用	44,767																																																																																																																																																																										
医業費用	44,767																																																																																																																																																																										
給与費	24,243																																																																																																																																																																										
材料費	12,996																																																																																																																																																																										
経費	7,326																																																																																																																																																																										
その他医業費用	202																																																																																																																																																																										
一般管理費	0																																																																																																																																																																										
営業外費用	2,205																																																																																																																																																																										
臨時損失	0																																																																																																																																																																										
資本支出	8,315																																																																																																																																																																										
建設改良費	2,897																																																																																																																																																																										
地方債償還金	5,060																																																																																																																																																																										
その他資本支出	358																																																																																																																																																																										
区分	金額																																																																																																																																																																										
収入	13,074																																																																																																																																																																										
営業収益	9,422																																																																																																																																																																										
医業収益	8,386																																																																																																																																																																										
運営費負担金収益	1,036																																																																																																																																																																										
その他営業収益	0																																																																																																																																																																										
営業外収益	260																																																																																																																																																																										
運営費負担金収益	221																																																																																																																																																																										
その他営業外収益	39																																																																																																																																																																										
臨時収益	0																																																																																																																																																																										
資本収入	3,392																																																																																																																																																																										
長期借入金	1,031																																																																																																																																																																										
運営費負担金収入	458																																																																																																																																																																										
その他資本収入	1,903																																																																																																																																																																										
支出	11,416																																																																																																																																																																										
営業費用	8,627																																																																																																																																																																										
医業費用	8,627																																																																																																																																																																										
給与費	4,761																																																																																																																																																																										
材料費	2,358																																																																																																																																																																										
経費	1,468																																																																																																																																																																										
その他医業費用	40																																																																																																																																																																										
一般管理費	0																																																																																																																																																																										
営業外費用	476																																																																																																																																																																										
臨時損失	0																																																																																																																																																																										
資本支出	2,313																																																																																																																																																																										
建設改良費	1,300																																																																																																																																																																										
地方債償還金	941																																																																																																																																																																										
その他資本支出	72																																																																																																																																																																										
区分	金額																																																																																																																																																																										
収入	11,766																																																																																																																																																																										
営業収益	10,037																																																																																																																																																																										
医業収益	8,955																																																																																																																																																																										
運営費負担金収益	1,038																																																																																																																																																																										
その他営業収益	44																																																																																																																																																																										
営業外収益	262																																																																																																																																																																										
運営費負担金収益	216																																																																																																																																																																										
その他営業外収益	46																																																																																																																																																																										
臨時収益	0																																																																																																																																																																										
資本収入	1,467																																																																																																																																																																										
長期借入金	985																																																																																																																																																																										
運営費負担金収入	458																																																																																																																																																																										
その他資本収入	24																																																																																																																																																																										
支出	11,105																																																																																																																																																																										
営業費用	8,559																																																																																																																																																																										
医業費用	8,234																																																																																																																																																																										
給与費	4,293																																																																																																																																																																										
材料費	2,420																																																																																																																																																																										
経費	1,483																																																																																																																																																																										
その他医業費用	38																																																																																																																																																																										
一般管理費	325																																																																																																																																																																										
営業外費用	386																																																																																																																																																																										
臨時損失	7																																																																																																																																																																										
資本支出	2,153																																																																																																																																																																										
建設改良費	1,212																																																																																																																																																																										
地方債償還金	941																																																																																																																																																																										
その他資本支出	0																																																																																																																																																																										

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価																																																																																																																																					
			自己 評価	評価 結果 コメント																																																																																																																																				
2 収支計画（平成24年度～28年度） （単位：百万円）	2 収支計画（平成24年度） （単位：百万円）	2 収支計画（平成24年度） （単位：百万円）																																																																																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入の部</td> <td>51,893</td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>50,715</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>45,336</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>5,252</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>1,178</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>984</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>194</td> </tr> <tr> <td> 臨時収益</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>支出の部</td> <td>52,209</td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>50,004</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>49,954</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>24,841</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>12,996</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>7,326</td> </tr> <tr> <td> 減価償却費</td> <td>4,589</td> </tr> <tr> <td> その他医業費用</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td> 営業外費用</td> <td>2,205</td> </tr> <tr> <td> 臨時損失</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>純利益</td> <td>316</td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額	収入の部	51,893	営業収益	50,715	医業収益	45,336	運営費負担金収益	5,252	その他営業収益	127	営業外収益	1,178	運営費負担金収益	984	その他営業外収益	194	臨時収益	0	支出の部	52,209	営業費用	50,004	医業費用	49,954	給与費	24,841	材料費	12,996	経費	7,326	減価償却費	4,589	その他医業費用	202	一般管理費	50	営業外費用	2,205	臨時損失	0	純利益	316	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入の部</td> <td>9,730</td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>9,470</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>8,386</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>1,036</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>221</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td> 臨時収益</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>支出の部</td> <td>10,184</td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>9,708</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>9,698</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>4,902</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>2,358</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>1,468</td> </tr> <tr> <td> 減価償却費</td> <td>930</td> </tr> <tr> <td> その他医業費用</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td> 営業外費用</td> <td>476</td> </tr> <tr> <td> 臨時損失</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>純利益</td> <td>453</td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額	収入の部	9,730	営業収益	9,470	医業収益	8,386	運営費負担金収益	1,036	その他営業収益	48	営業外収益	260	運営費負担金収益	221	その他営業外収益	39	臨時収益	0	支出の部	10,184	営業費用	9,708	医業費用	9,698	給与費	4,902	材料費	2,358	経費	1,468	減価償却費	930	その他医業費用	40	一般管理費	10	営業外費用	476	臨時損失	0	純利益	453	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入の部</td> <td>10,396</td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>10,074</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>8,943</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>1,038</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>215</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td> 臨時収益</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>支出の部</td> <td>10,306</td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>9,497</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>9,163</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>4,483</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>2,359</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>1,425</td> </tr> <tr> <td> 減価償却費</td> <td>858</td> </tr> <tr> <td> その他医業費用</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>334</td> </tr> <tr> <td> 営業外費用</td> <td>792</td> </tr> <tr> <td> 臨時損失</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>純利益</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額	収入の部	10,396	営業収益	10,074	医業収益	8,943	運営費負担金収益	1,038	その他営業収益	93	営業外収益	260	運営費負担金収益	215	その他営業外収益	45	臨時収益	62	支出の部	10,306	営業費用	9,497	医業費用	9,163	給与費	4,483	材料費	2,359	経費	1,425	減価償却費	858	その他医業費用	38	一般管理費	334	営業外費用	792	臨時損失	17	純利益	90		
区分	金額																																																																																																																																							
収入の部	51,893																																																																																																																																							
営業収益	50,715																																																																																																																																							
医業収益	45,336																																																																																																																																							
運営費負担金収益	5,252																																																																																																																																							
その他営業収益	127																																																																																																																																							
営業外収益	1,178																																																																																																																																							
運営費負担金収益	984																																																																																																																																							
その他営業外収益	194																																																																																																																																							
臨時収益	0																																																																																																																																							
支出の部	52,209																																																																																																																																							
営業費用	50,004																																																																																																																																							
医業費用	49,954																																																																																																																																							
給与費	24,841																																																																																																																																							
材料費	12,996																																																																																																																																							
経費	7,326																																																																																																																																							
減価償却費	4,589																																																																																																																																							
その他医業費用	202																																																																																																																																							
一般管理費	50																																																																																																																																							
営業外費用	2,205																																																																																																																																							
臨時損失	0																																																																																																																																							
純利益	316																																																																																																																																							
区分	金額																																																																																																																																							
収入の部	9,730																																																																																																																																							
営業収益	9,470																																																																																																																																							
医業収益	8,386																																																																																																																																							
運営費負担金収益	1,036																																																																																																																																							
その他営業収益	48																																																																																																																																							
営業外収益	260																																																																																																																																							
運営費負担金収益	221																																																																																																																																							
その他営業外収益	39																																																																																																																																							
臨時収益	0																																																																																																																																							
支出の部	10,184																																																																																																																																							
営業費用	9,708																																																																																																																																							
医業費用	9,698																																																																																																																																							
給与費	4,902																																																																																																																																							
材料費	2,358																																																																																																																																							
経費	1,468																																																																																																																																							
減価償却費	930																																																																																																																																							
その他医業費用	40																																																																																																																																							
一般管理費	10																																																																																																																																							
営業外費用	476																																																																																																																																							
臨時損失	0																																																																																																																																							
純利益	453																																																																																																																																							
区分	金額																																																																																																																																							
収入の部	10,396																																																																																																																																							
営業収益	10,074																																																																																																																																							
医業収益	8,943																																																																																																																																							
運営費負担金収益	1,038																																																																																																																																							
その他営業収益	93																																																																																																																																							
営業外収益	260																																																																																																																																							
運営費負担金収益	215																																																																																																																																							
その他営業外収益	45																																																																																																																																							
臨時収益	62																																																																																																																																							
支出の部	10,306																																																																																																																																							
営業費用	9,497																																																																																																																																							
医業費用	9,163																																																																																																																																							
給与費	4,483																																																																																																																																							
材料費	2,359																																																																																																																																							
経費	1,425																																																																																																																																							
減価償却費	858																																																																																																																																							
その他医業費用	38																																																																																																																																							
一般管理費	334																																																																																																																																							
営業外費用	792																																																																																																																																							
臨時損失	17																																																																																																																																							
純利益	90																																																																																																																																							

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント																																																																																																																																																						
		自己 評価	評価 結果																																																																																																																																																							
3 資金計画（平成24年度～28年度） （単位：百万円）	3 資金計画（平成24年度） （単位：百万円）	3 資金計画（平成24年度） （単位：百万円）																																																																																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金収入</td> <td>58,559</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による収入</td> <td>51,766</td> </tr> <tr> <td> 診療業務による収入</td> <td>45,336</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金による収入</td> <td>6,236</td> </tr> <tr> <td> その他業務活動による収入</td> <td>194</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による収入</td> <td>2,619</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金による収入</td> <td>2,619</td> </tr> <tr> <td> その他投資活動による収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による収入</td> <td>4,174</td> </tr> <tr> <td> 長期借入による収入</td> <td>2,271</td> </tr> <tr> <td> その他財務活動による収入</td> <td>1,903</td> </tr> <tr> <td>資金支出</td> <td>55,287</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による支出</td> <td>46,972</td> </tr> <tr> <td> 給与費支出</td> <td>24,243</td> </tr> <tr> <td> 材料費支出</td> <td>12,996</td> </tr> <tr> <td> その他業務活動による支出</td> <td>9,733</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による支出</td> <td>3,255</td> </tr> <tr> <td> 有形固定資産の取得による支出</td> <td>2,897</td> </tr> <tr> <td> その他の投資活動による支出</td> <td>358</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による支出</td> <td>5,060</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金返済による支出</td> <td>483</td> </tr> <tr> <td> 移行前地方債償還債務の償還による支出</td> <td>4,577</td> </tr> <tr> <td> その他財務活動による支出</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>次期中期目標期間への繰越金</td> <td>3,272</td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額	資金収入	58,559	業務活動による収入	51,766	診療業務による収入	45,336	運営費負担金による収入	6,236	その他業務活動による収入	194	投資活動による収入	2,619	運営費負担金による収入	2,619	その他投資活動による収入	0	財務活動による収入	4,174	長期借入による収入	2,271	その他財務活動による収入	1,903	資金支出	55,287	業務活動による支出	46,972	給与費支出	24,243	材料費支出	12,996	その他業務活動による支出	9,733	投資活動による支出	3,255	有形固定資産の取得による支出	2,897	その他の投資活動による支出	358	財務活動による支出	5,060	長期借入金返済による支出	483	移行前地方債償還債務の償還による支出	4,577	その他財務活動による支出	0	次期中期目標期間への繰越金	3,272	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金収入</td> <td>13,074</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による収入</td> <td>9,682</td> </tr> <tr> <td> 診療業務による収入</td> <td>8,386</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金による収入</td> <td>1,257</td> </tr> <tr> <td> その他業務活動による収入</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による収入</td> <td>458</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金による収入</td> <td>458</td> </tr> <tr> <td> その他投資活動による収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による収入</td> <td>2,394</td> </tr> <tr> <td> 長期借入による収入</td> <td>1,031</td> </tr> <tr> <td> その他財務活動による収入</td> <td>1,903</td> </tr> <tr> <td>資金支出</td> <td>11,416</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による支出</td> <td>9,103</td> </tr> <tr> <td> 給与費支出</td> <td>4,761</td> </tr> <tr> <td> 材料費支出</td> <td>2,358</td> </tr> <tr> <td> その他業務活動による支出</td> <td>1,984</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による支出</td> <td>1,372</td> </tr> <tr> <td> 有形固定資産の取得による支出</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td> その他の投資活動による支出</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による支出</td> <td>941</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金返済による支出</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 移行前地方債償還債務の償還による支出</td> <td>941</td> </tr> <tr> <td> その他財務活動による支出</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>次期中期目標期間への繰越金</td> <td>1,658</td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額	資金収入	13,074	業務活動による収入	9,682	診療業務による収入	8,386	運営費負担金による収入	1,257	その他業務活動による収入	39	投資活動による収入	458	運営費負担金による収入	458	その他投資活動による収入	0	財務活動による収入	2,394	長期借入による収入	1,031	その他財務活動による収入	1,903	資金支出	11,416	業務活動による支出	9,103	給与費支出	4,761	材料費支出	2,358	その他業務活動による支出	1,984	投資活動による支出	1,372	有形固定資産の取得による支出	1,300	その他の投資活動による支出	72	財務活動による支出	941	長期借入金返済による支出	0	移行前地方債償還債務の償還による支出	941	その他財務活動による支出	0	次期中期目標期間への繰越金	1,658	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金収入</td> <td>13,772</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による収入</td> <td>10,020</td> </tr> <tr> <td> 診療業務による収入</td> <td>8,726</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金による収入</td> <td>1,254</td> </tr> <tr> <td> その他業務活動による収入</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による収入</td> <td>483</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金による収入</td> <td>458</td> </tr> <tr> <td> その他投資活動による収入</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による収入</td> <td>3,269</td> </tr> <tr> <td> 長期借入による収入</td> <td>985</td> </tr> <tr> <td> その他財務活動による収入</td> <td>2,284</td> </tr> <tr> <td>資金支出</td> <td>11,203</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による支出</td> <td>9,069</td> </tr> <tr> <td> 給与費支出</td> <td>4,783</td> </tr> <tr> <td> 材料費支出</td> <td>2,397</td> </tr> <tr> <td> その他業務活動による支出</td> <td>1,889</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による支出</td> <td>1,190</td> </tr> <tr> <td> 有形固定資産の取得による支出</td> <td>1,190</td> </tr> <tr> <td> その他の投資活動による支出</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による支出</td> <td>944</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金返済による支出</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 移行前地方債償還債務の償還による支出</td> <td>941</td> </tr> <tr> <td> その他財務活動による支出</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>次期中期目標期間への繰越金</td> <td>2,569</td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額	資金収入	13,772	業務活動による収入	10,020	診療業務による収入	8,726	運営費負担金による収入	1,254	その他業務活動による収入	40	投資活動による収入	483	運営費負担金による収入	458	その他投資活動による収入	25	財務活動による収入	3,269	長期借入による収入	985	その他財務活動による収入	2,284	資金支出	11,203	業務活動による支出	9,069	給与費支出	4,783	材料費支出	2,397	その他業務活動による支出	1,889	投資活動による支出	1,190	有形固定資産の取得による支出	1,190	その他の投資活動による支出	0	財務活動による支出	944	長期借入金返済による支出	0	移行前地方債償還債務の償還による支出	941	その他財務活動による支出	3	次期中期目標期間への繰越金	2,569		
区分	金額																																																																																																																																																									
資金収入	58,559																																																																																																																																																									
業務活動による収入	51,766																																																																																																																																																									
診療業務による収入	45,336																																																																																																																																																									
運営費負担金による収入	6,236																																																																																																																																																									
その他業務活動による収入	194																																																																																																																																																									
投資活動による収入	2,619																																																																																																																																																									
運営費負担金による収入	2,619																																																																																																																																																									
その他投資活動による収入	0																																																																																																																																																									
財務活動による収入	4,174																																																																																																																																																									
長期借入による収入	2,271																																																																																																																																																									
その他財務活動による収入	1,903																																																																																																																																																									
資金支出	55,287																																																																																																																																																									
業務活動による支出	46,972																																																																																																																																																									
給与費支出	24,243																																																																																																																																																									
材料費支出	12,996																																																																																																																																																									
その他業務活動による支出	9,733																																																																																																																																																									
投資活動による支出	3,255																																																																																																																																																									
有形固定資産の取得による支出	2,897																																																																																																																																																									
その他の投資活動による支出	358																																																																																																																																																									
財務活動による支出	5,060																																																																																																																																																									
長期借入金返済による支出	483																																																																																																																																																									
移行前地方債償還債務の償還による支出	4,577																																																																																																																																																									
その他財務活動による支出	0																																																																																																																																																									
次期中期目標期間への繰越金	3,272																																																																																																																																																									
区分	金額																																																																																																																																																									
資金収入	13,074																																																																																																																																																									
業務活動による収入	9,682																																																																																																																																																									
診療業務による収入	8,386																																																																																																																																																									
運営費負担金による収入	1,257																																																																																																																																																									
その他業務活動による収入	39																																																																																																																																																									
投資活動による収入	458																																																																																																																																																									
運営費負担金による収入	458																																																																																																																																																									
その他投資活動による収入	0																																																																																																																																																									
財務活動による収入	2,394																																																																																																																																																									
長期借入による収入	1,031																																																																																																																																																									
その他財務活動による収入	1,903																																																																																																																																																									
資金支出	11,416																																																																																																																																																									
業務活動による支出	9,103																																																																																																																																																									
給与費支出	4,761																																																																																																																																																									
材料費支出	2,358																																																																																																																																																									
その他業務活動による支出	1,984																																																																																																																																																									
投資活動による支出	1,372																																																																																																																																																									
有形固定資産の取得による支出	1,300																																																																																																																																																									
その他の投資活動による支出	72																																																																																																																																																									
財務活動による支出	941																																																																																																																																																									
長期借入金返済による支出	0																																																																																																																																																									
移行前地方債償還債務の償還による支出	941																																																																																																																																																									
その他財務活動による支出	0																																																																																																																																																									
次期中期目標期間への繰越金	1,658																																																																																																																																																									
区分	金額																																																																																																																																																									
資金収入	13,772																																																																																																																																																									
業務活動による収入	10,020																																																																																																																																																									
診療業務による収入	8,726																																																																																																																																																									
運営費負担金による収入	1,254																																																																																																																																																									
その他業務活動による収入	40																																																																																																																																																									
投資活動による収入	483																																																																																																																																																									
運営費負担金による収入	458																																																																																																																																																									
その他投資活動による収入	25																																																																																																																																																									
財務活動による収入	3,269																																																																																																																																																									
長期借入による収入	985																																																																																																																																																									
その他財務活動による収入	2,284																																																																																																																																																									
資金支出	11,203																																																																																																																																																									
業務活動による支出	9,069																																																																																																																																																									
給与費支出	4,783																																																																																																																																																									
材料費支出	2,397																																																																																																																																																									
その他業務活動による支出	1,889																																																																																																																																																									
投資活動による支出	1,190																																																																																																																																																									
有形固定資産の取得による支出	1,190																																																																																																																																																									
その他の投資活動による支出	0																																																																																																																																																									
財務活動による支出	944																																																																																																																																																									
長期借入金返済による支出	0																																																																																																																																																									
移行前地方債償還債務の償還による支出	941																																																																																																																																																									
その他財務活動による支出	3																																																																																																																																																									
次期中期目標期間への繰越金	2,569																																																																																																																																																									

大項目 第7 その他業務運営に関する事項

中期目標	第5 その他業務運営に関する重要事項
	1 保健医療行政への協力 県などが進める保健医療行政の取組に対し積極的に協力すること。

評価項目 3.7 保健医療行政への協力

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価	
		自己評価	評価結果	コメント	
第9 その他業務運営に関する重要事項 1 保健医療行政への協力 北勢保健医療圏の中核的病院として、保健医療行政の取組に対し積極的に協力する。	第7 その他業務運営に関する重要事項 評価項目 3.7 1 保健医療行政への協力 北勢保健医療圏の中核的病院として、保健医療行政の取組に対し積極的に協力する。	・北勢保健医療圏における周産期医療の需要増に応えるため、平成24年度には、周産期母子センターを増改築して、NICU【新生児集中治療室】(3床6床)、GCU【継続保育治療室】(7床12床)を増床した。 ・IDリンク(三重医療安心ネットワーク)を活用した医療情報の共有化については、四日市医師会、市立四日市病院及び四日市社会保険病院と検討を行い、平成25年度中に導入することを決定した。			周産期母子センターの増改築に伴う増床により、北勢地域の周産期医療の充実に貢献できる環境を整えた。 今後は、さらに市立四日市病院との連携を図ってほしい。 また、三重県保健医療計画(第5次改訂)の中で定められた地域災害医療コーディネーターによる地域防災体制の構築と災害拠点病院のさらなる強化充実に図ってほしい。 さらに、IDリンクによる医療情報が共有できる北勢地域独自のシステムの構築を四日市医師会や二次輪番病院で実現して欲しい。

大項目 第7 その他業務運営に関する事項

中期目標	第5 - 2 法令・社会規範の遵守 県民に信頼され、県内の他の医療機関の模範となるよう法令や社会規範を遵守すること。
------	---

評価項目 38 法令・社会規範の遵守

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価	
			自己評価	評価結果 コメント
2 法令・社会規範の遵守 県民や他の医療機関に信頼され、公的使命を適切に果たすよう、医療法をはじめとする関係法令を遵守して、健全な病院運営に努める。	評価項目 38 2 法令・社会規範の遵守 県民や他の医療機関に信頼され、公的使命を適切に果たすよう、医療法をはじめとする関係法令を遵守して、健全な病院運営に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・医療法等の法令の遵守はもとより、北勢地域の基幹となる公的病院として、政策医療、人材育成を果たしている。 ・地域の医療機関との信頼関係を強化しながら、健全な病院運営に努めている。 ・他の医療機関とは、病診連携運営委員会を開催（3回）して意見交換したり、地域の医療機関等を対象とした講演会・研究会を実施（17回）し、地域医療水準の向上とともに、信頼関係の構築に努めた。 その結果、紹介率・逆紹介率等が向上し、病診連携の緊密な病院運営を図ることができた。		地域との信頼関係の構築に努め、病診連携の向上につながった。 救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院、高度医療他様々な特殊医療を提供するため、引き続き、法の遵守はもとより健全な病院運営に取り組んでもらいたい。

大項目 第7 その他業務運営に関する事項

評価項目 39 業務運営並びに財務及び会計に関する事項

中期計画	年度計画 評価項目	業務実績内容 / 法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価													
		自己 評価	評価 結果	コメント													
<p>3 業務運営並びに財務及び会計に関する事項</p> <p>(1) 施設及び設備に関する計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>2,897百万円</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 積立金の処分に関する計画 なし</p> <p>(3) その他法人の業務運営に関し必要な事項 なし</p>	施設及び設備の内容	予定額	財源	病院施設、医療機器等整備	2,897百万円	設立団体からの長期借入金等	<p>3 業務運営並びに財務及び会計に関する事項</p> <p>(1) 施設及び設備に関する計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>1,300百万円</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table>	施設及び設備の内容	予定額	財源	病院施設、医療機器等整備	1,300百万円	設立団体からの長期借入金等			<p>計画通りの設備投資をする中で、当初の予算額を88百万円縮減できたことは評価できる。</p>	
施設及び設備の内容	予定額	財源															
病院施設、医療機器等整備	2,897百万円	設立団体からの長期借入金等															
施設及び設備の内容	予定額	財源															
病院施設、医療機器等整備	1,300百万円	設立団体からの長期借入金等															
		<p>・平成24年度は、「周産期母子センター」、「内視鏡センター」の増改築を中心とし、計画通りの設備投資を実現する中で、当初の予定額を縮減するだけでなく、補助金の活用により県からの借入を抑制することもできた。</p> <p>○施設整備への投資 周産期母子センター増改築工事、及び附随医療機器 805百万円 内視鏡センター増改築工事、及び附随医療機器 254百万円 その他医療機器の新設、更新等 153百万円</p> <p>合計 1,212百万円</p>															